

# 令和4年度 三田市市民意識調査 調査結果報告書

令和4年10月  
三田市



# 目次

I 調査概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査内容 .....	1
3. 調査方法 .....	2
4. 標本誤差 .....	3
5. 報告書の見方 .....	4
6. 設問の構成とまとめ .....	5
II 調査結果 .....	8
1. 回答者の属性 .....	8
2. まちづくりや市政全般について .....	17
(参考) 調査票 .....	55



# I 調査概要

## 1. 調査の目的

この調査は、市民の価値観や行動志向、行政への要望など市民生活の基本的な意識について把握することにより、総合計画の進捗確認や今後の政策形成等の基礎資料を得ることを目的としています。

## 2. 調査内容

### (1) 回答者の属性

- 問1 居住地区
- 問2 年齢
- 問3 世帯構成
- 問4 家族構成員
- 問5 職業
- 問6 通勤、通学先

### (2) まちづくりや市政全般について

- 問7 人権問題の解決に向けての自分の努力
- 問8 地域活動への参加状況
- 問9 隣近所との助け合いの可否
- 問10 日常生活での健康づくりの取り組み状況
- 問11 週1回以上の運動やスポーツの実践状況
- 問12 「かかりつけ医」の有無
- 問13 三田市のまちづくりに対する関心度
- 問14 三田市のまちづくりにまったく関心がない理由
- 問15 広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集の閲読状況
- 問16 三田市役所に対する信頼の程度
- 問17 三田市役所を信頼できない理由
- 問18 よりよい三田のまちのための取り組み状況
- 問19 よりよい三田のまちのために行っている事例
- 問20 今後の三田市での居住意向
- 問21 転出・転居したい理由
- 問22 「SDGs（持続可能な開発目標）」への関心度
- 問23 「SDGs」の17のゴールの中で興味のあるジャンル
- 問24 まちづくりの各分野の満足度と重要度

### 3. 調査方法

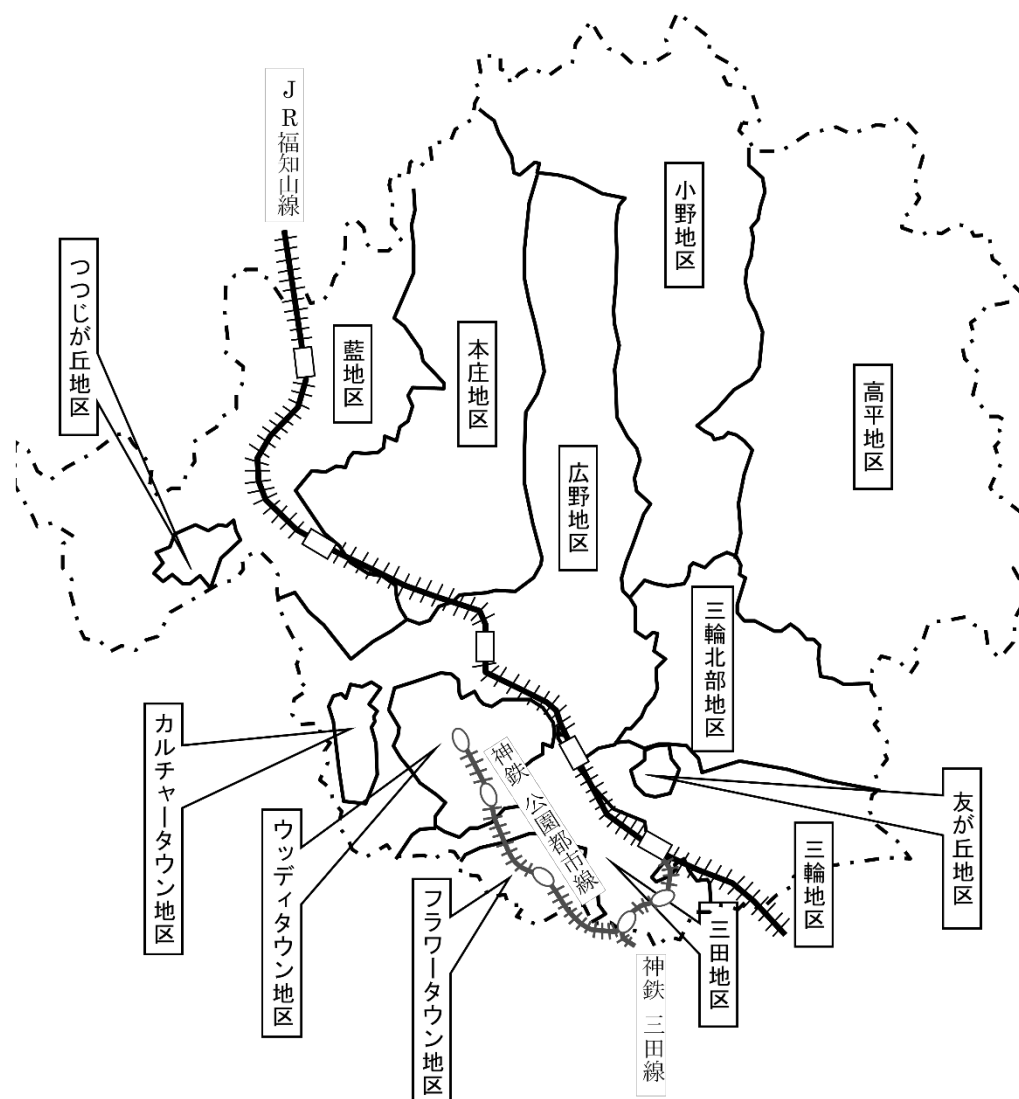
- (1) 調査地域 三田市内  
 (2) 調査対象 市内に在住する 18 歳以上の市民 3,000 人  
 (3) 抽出方法 住民基本台帳から年齢別地域別層化系統抽出  
 (4) 配布方法 郵送  
 (5) 回収方法 郵送（インターネットによる回答も可）  
 ※お礼状兼督促状 1 回送付  
 (6) 調査期間 令和 4（2022）年 6 月 9 日（木）～ 6 月 28 日（火）  
 (7) 有効配布数 2,989 件  
 (8) 有効回収数 1,402 件（回収率 46.9%）  
 ※インターネットによる回答 432 件含む

#### 【地区別配布・回収結果】

地区名	配布数	不到着等	実質配布数	回収数	回収率
三田地区	384	2	382	194	50.7%
友が丘地区	64	1	63	31	49.2%
三輪地区	350	2	348	117	33.6%
広野地区	153		153	58	37.9%
小野地区	53		53	25	47.1%
高平地区	82	1	81	38	46.9%
つつじが丘地区	167		167	87	52.0%
藍地区（つつじが丘地区を除く）	74	1	73	34	46.5%
本庄地区	46		46	19	41.3%
フラワータウン地区	561	1	560	278	49.6%
ウッディタウン地区	977	3	974	473	48.5%
カルチャータウン地区	89		89	47	52.8%
不明（無回答）	—	—	—	1	—
合計	3,000	11	2989	1402	46.9%

※三輪地区には、三輪北部地区（志手原小学校区）を含む

## 【地区区分図】



## 4. 標本誤差

一般的に、標本調査においては、標本（有効回答）から母集団（総人口）の精度として、信頼度 95% のレベルでの結果を評価することが妥当とされています。

（信頼度 95% とは、同一の調査を 100 回実施すれば 95 回は、この結果数値の前後の一定の幅の間におさまるとのこと。）

そして、この信頼度 95% における測定値（%）の標本誤差は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

N：母集団数（18 歳以上の市民 92,189 人（令和 4 年 6 月末日現在））

n：標本数（本調査では回答総数=1,402）

P：測定値（%）（本調査では回答比率）

## 【信頼度 95%における主要な標本誤差】

標本数	P(%)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	n	95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
	3,000	±0.8%	±1.1%	±1.3%	±1.4%	±1.5%	±1.6%	±1.7%	±1.8%	±1.8%	±1.8%
	2,500	±0.9%	±1.2%	±1.4%	±1.6%	±1.7%	±1.8%	±1.9%	±1.9%	±2.0%	±2.0%
	2,000	±1.0%	±1.3%	±1.6%	±1.8%	±1.9%	±2.0%	±2.1%	±2.1%	±2.2%	±2.2%
	1,500	±1.1%	±1.5%	±1.8%	±2.0%	±2.2%	±2.3%	±2.4%	±2.5%	±2.5%	±2.5%
全体	1,402	±1.1%	±1.6%	±1.9%	±2.1%	±2.3%	±2.4%	±2.5%	±2.6%	±2.6%	±2.6%
	1,000	±1.4%	±1.9%	±2.2%	±2.5%	±2.7%	±2.8%	±3.0%	±3.0%	±3.1%	±3.1%
	500	±1.9%	±2.6%	±3.1%	±3.5%	±3.8%	±4.0%	±4.2%	±4.3%	±4.4%	±4.4%
	250	±2.7%	±3.7%	±4.4%	±5.0%	±5.4%	±5.7%	±5.9%	±6.1%	±6.2%	±6.2%
	100	±4.3%	±5.9%	±7.0%	±7.8%	±8.5%	±9.0%	±9.3%	±9.6%	±9.8%	±9.8%

この表について、例えば、回答総数（1,402）を100.0%とする設問で、選択肢に対する回答率が90%であった場合、18歳以上の市民（92,189人）における回答比率の誤差範囲は、±1.6%（88.4%～91.6%）の間であることを推測できます。

なお、クロス集計の場合、回答者数（該当者数）が50人未満の場合は標本誤差が多いため、参考に留めてください。

## 5. 報告書の見方

- ① 集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。複数回答を求めた設問は、回答者に対する割合を示しているため合計が100%を超えています。
- ② 「全体」は、回答者数(1,402)であり、「回答総数」は複数回答の場合の全回答数を指しています。「n」は各設問の母数を、「n(該当者)」は回答者を特定した場合の母数を表しています。
- ③ 地区別集計は、地区区分として、三田地区、三輪北部地区（志手原小学校区）、友が丘地区、三輪地区（三輪北部地区・友が丘地区を除く）、広野地区、小野地区、高平地区、つつじが丘地区、藍地区（つつじが丘地区を除く）、本庄地区、フラワータウン地区、ウッディタウン地区、カルチャータウン地区に分けて分析しています。
- ④ 年代別や地域別は、対象者ごとに%を算出しており、複数回答については、**第1位**、**第2位**、**第3位**として順位を表しています。なお、同率の場合は、同一順位とし、以下の順位を繰り下げています。
- ⑤ 複数の回答を合わせた『取り組んでいる』などは、回答者数を全体で除しており、単数の合計とは合わないことがあります。



## 6. 設問の構成とまとめ

設問のねらい・趣旨	設問項目
◆市民のまちづくりに対する関心・取り組み状況や市政全般に関する意見や意向、考えを把握します。	問7 人権問題の解決に向けての自分の努力
	問8 地域活動への参加状況
	問9 隣近所との助け合いの可否
	問10 日常生活での健康づくりの取り組み状況
	問11 週1回以上の運動やスポーツの実践状況
	問12 「かかりつけ医」の有無
	問13 三田市のまちづくりに対する関心度
	問14 三田市のまちづくりにまったく関心がない理由
	問15 広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集の閲読状況
	問16 三田市役所に対する信頼の程度
	問17 三田市役所を信頼できない理由
	問18 よりよい三田のまちのための取り組み状況
	問19 よりよい三田のまちのために行っている事例
	問20 今後の三田市での居留意向
問21 転出・転居したい理由	
◆市民の「SDGs」に対する関心や、まちづくりの各分野の満足度・重要度を把握します。	問22 「SDGs（持続可能な開発目標）」への関心度
	問23 「SDGs」の17のゴールの中で興味のあるジャンル
	問24 まちづくりの各分野の満足度と重要度

まとめ（概要）	
問 7	人権問題の解決に向けて社会全体での取り組みとともに、自分も努力すべきと思うかについては、「そう思う」が90.0%、「そう思わない」が8.1%となっています。
問 8	地域活動への参加状況については、「現在参加している」が33.2%、「現在参加していないが、今後参加したい」が32.4%、「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が33.2%となっています。
問 9	隣近所との助け合いの可否については、「思う」が78.0%、「思わない」が21.4%となっています。
問 10	日常生活での健康づくりの取り組みについては、「大いに取り組んでいる」と「少しは取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は、70.9%となっています。一方「あまり取り組んでいない」と「何も取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』は、29.0%となっています。
問 11	週1回以上の運動やスポーツの実践状況については、「している」が46.4%、「していない」が53.3%となっています。
問 12	「かかりつけ医」の有無については、「いる」が66.7%、「いない」が33.1%となっています。
問 13	三田市のまちづくりへの関心度については、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は、77.0%となっています。一方、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』は、22.6%となっています。
問 14	三田市のまちづくりにまったく関心がない理由は、「家庭や仕事で忙しく、時間がない」「まちづくりが何を意味するのか分からない」「まちづくりは町中が中心で、それ以外は何もないから」などの意見が挙げられています。
問 15	広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況については、「読んでいる」が63.6%、「読んでいない」が36.0%となっています。
問 16	三田市に対する信頼の程度は、「信頼できる」と「まあ信頼できる」を合わせた『信頼できる』は82.8%となっています。一方、「あまり信頼できない」と「信頼できない」を合わせた『信頼できない』は16.6%となっています。
問 17	三田市役所を信頼できない理由は、「政策に反対・不信」「政策に関して決定した理由や経緯の説明が十分でない」「親身に対応してくれない」などの意見が挙げられています。
問 18	よりよい三田のまちのための取り組み状況については、「行っている」が22.2%、「行っていない」が77.1%となっています。
問 19	よりよい三田市のまちのために行っている事例は、「地域の行事（クリーンデー等）、イベントへの参加」「町のパトロールや登下校中の子どもの見守り、声かけ（挨拶）」「町の活動団体への参加、運営補助」などの意見が挙げられています。
問 20	今後の三田市での居留意向は、「今後も住み続けたい」が64.5%と最も多くなっています。次いで、「今のところ、わからない」（26.2%）、「市外に移りたい」（5.4%）、「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」（3.4%）の順となっています。

問 21 転出や転居したい理由は、「医療機関や福祉施設が充実していない」が 39.0%と最も多くなっています。次いで、「通勤・通学に時間がかかる」(35.8%)、「買い物などの日常生活が不便」(30.1%)の順となっています。

問 22 「SDGs」への関心度では、「とても関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある』割合は 58.7%となっています。「あまり関心がない」と「関心がない」を合わせた『関心がない』割合は 30.4%となっています。

問 23 「SDGs」の 17 のゴールの中で興味のあるジャンルについては、「住み続けられるまちづくりを」と「すべての人に健康と福祉を」がそれぞれ 55.0%、53.0%と高く、どちらも半数を超えています。一方、「パートナーシップで目標を達成しよう」は 8.3%と最も低くなっています。次いで、「産業と技術革新の基盤をつくろう」(18.0%)、「ジェンダー平等を実現しよう」(19.3%)、「つくる責任 つかう責任」(22.5%)の順となっています。

問 24 三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する満足度については、『「さと」の恵みを守り、活かすまち』が 3.19 ポイントと、最も高くなっています。重要度については、「支えあい、安全安心に暮らせるまち」が 4.23 ポイントと、最も高くなっています。  
満足度が低い、重要度は高い施策体系は、『「ひと」のチカラを育み、生きるまち』『支えあい、安全安心に暮らせるまち』『「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち』となっています。

#### 担当課（政策課）のコメント

○第 5 次総合計画の策定にあわせて、これまでからある設問を見直し、市が行う施策の進捗評価等、市民意識調査の結果を用います。

今回の調査で特徴的だったのは、健康とまちづくりへの関心が高まっていることがわかったことです。問 11：週一回以上運動やスポーツをしているという回答をした人は 46.4%であり、問 23：「SDGs」ゴールの中で「住み続けられるまちづくり」と「すべての人に健康と福祉を」への関心が 55.0%、53.0%と過半数を超えていました。

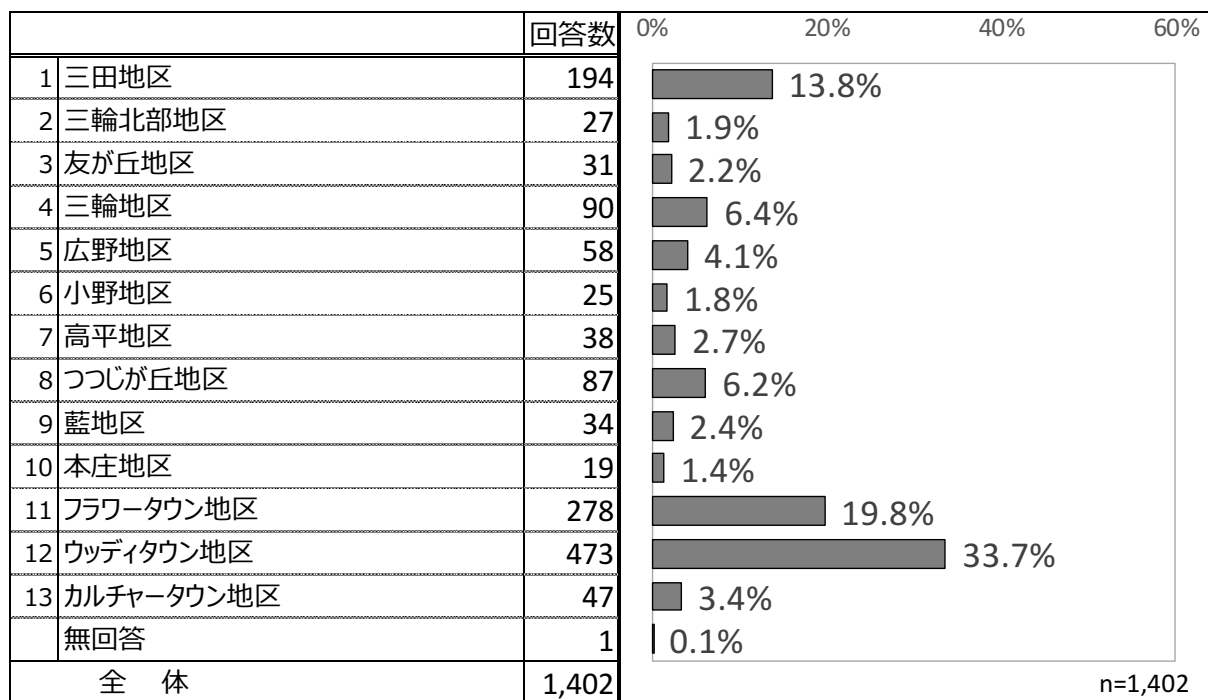
以上のほか、今回の調査結果を、より効率的な市政の展開が可能となるよう活かしていきます。

## II 調査結果

## 1. 回答者の属性

## (1) 居住地区

問1 あなたがお住まいの地区を選んでください。(○は1つ)



## 【備考】

三輪北部地区：志手原小学校区

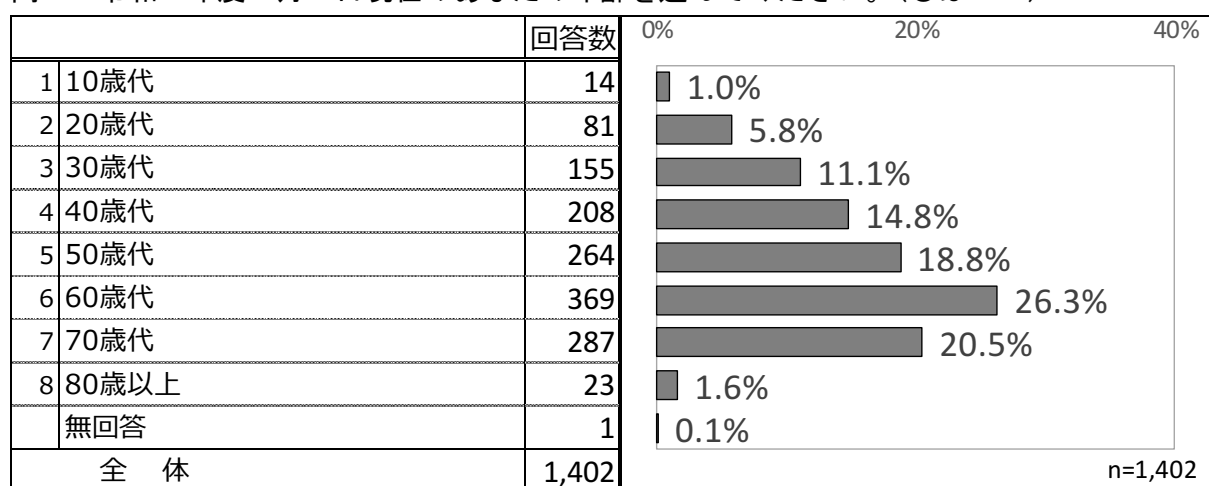
三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

回答者の居住地は、ウッディタウン地区が33.7%で最も多くなっています。次いで、フラワータウン地区が19.8%、三田地区13.8%の順となっています。

## (2) 年齢

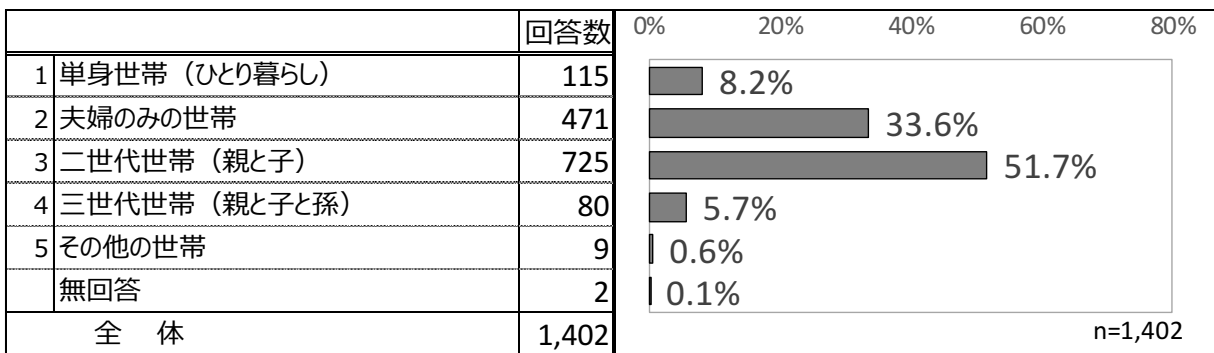
問2 令和4年度6月1日現在のあなたの年齢を選んでください。(○は1つ)



回答者の年齢は、60歳代が26.3%と最も多くなっています。次いで、70歳代(20.5%)、50歳代(18.8%)の順となっています。

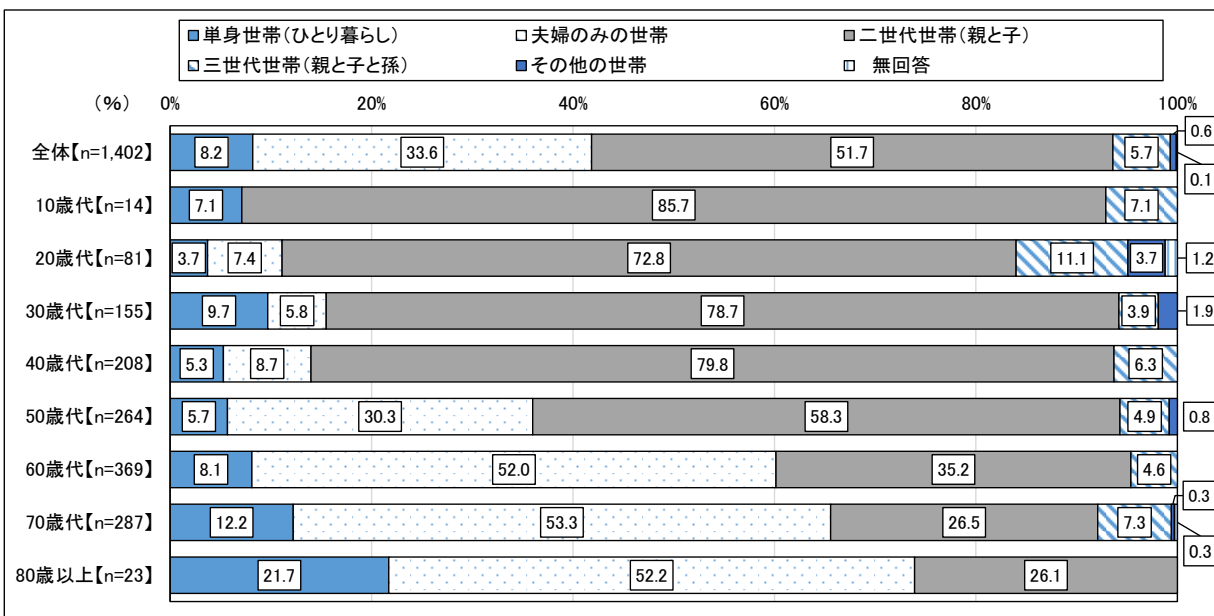
**(3) 世帯構成**

問3 あなたの世帯構成を選んでください。(○は1つ)



※「その他」の内容：夫婦と義父母、兄弟・姉妹 等

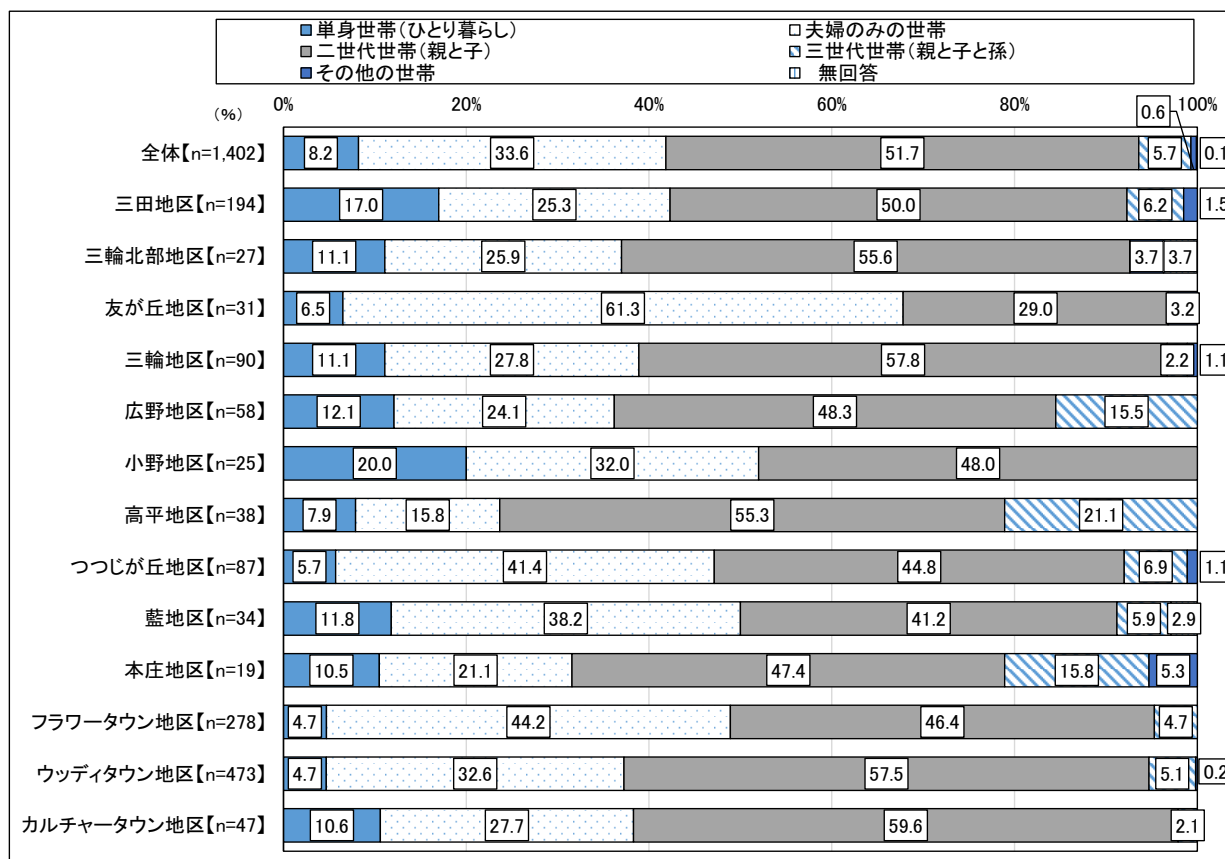
**【年代別】**



回答者の世帯構成は、「二世帯世帯 (親と子)」が51.7%と半数を超えています。次いで、「夫婦のみの世帯」(33.6%)、「単身世帯 (ひとり暮らし)」(8.2%)、「三世帯世帯 (親と子と孫)」が5.7%の順となっています。

年代別にみると、10～50歳代は「二世帯世帯 (親と子)」が半数を超えています。60歳代、70歳代及び80歳以上は「夫婦のみの世帯」が50.0%以上と半数を超えています。次いで「二世帯世帯 (親と子)」「単身世帯 (ひとり暮らし)」の順になっています。

【地区別】



三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

地区別にみると、「二世帯世帯（親と子）」は、カルチャータウン地区が 59.6%と最も多くなっています。次いで、三輪地区（57.8%）、ウッディタウン地区（57.5%）、三輪北部地区（55.6%）、高平地区（55.3%）、三田地区（50.0%）であり、これら 6 地区が半数を超えています。

「夫婦のみ世帯」は、友が丘地区が 61.3%で最も多くなっています。次いで、フラワータウン地区（44.2%）、つつじが丘地区（41.4%）となっています。

「三世帯世帯（親と子と孫）」は、高平地区が 21.1%と最も多くなっています。次いで、本庄地区（15.8%）、広野地区（15.5%）の順となっています。

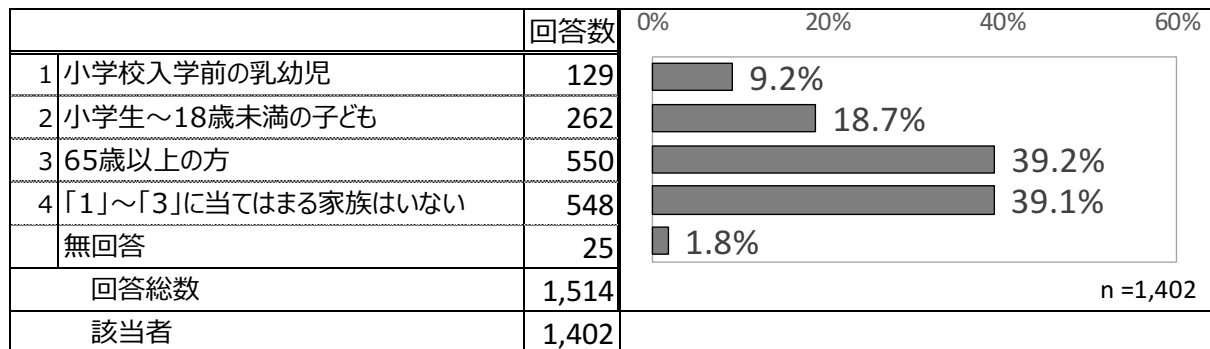
「単身世帯（ひとり暮らし）」は、小野地区（20.0%）、三田地区（17.0%）、広野地区（12.1%）、藍地区（11.8%）の順となっています。

II 調査結果

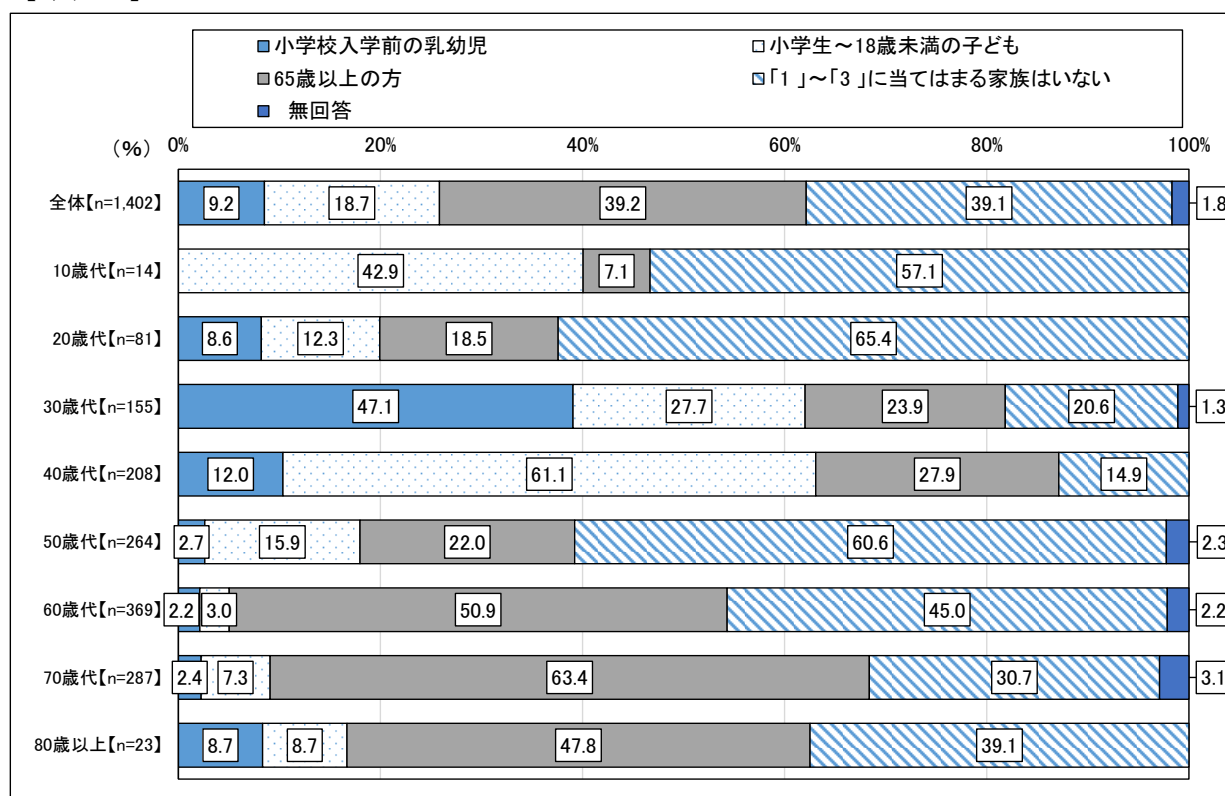
**(4) 家族構成員**

問4 あなたのご家族に次の方はおられますか。該当するものを選んでください。

(○はいくつでも)



【年代別】

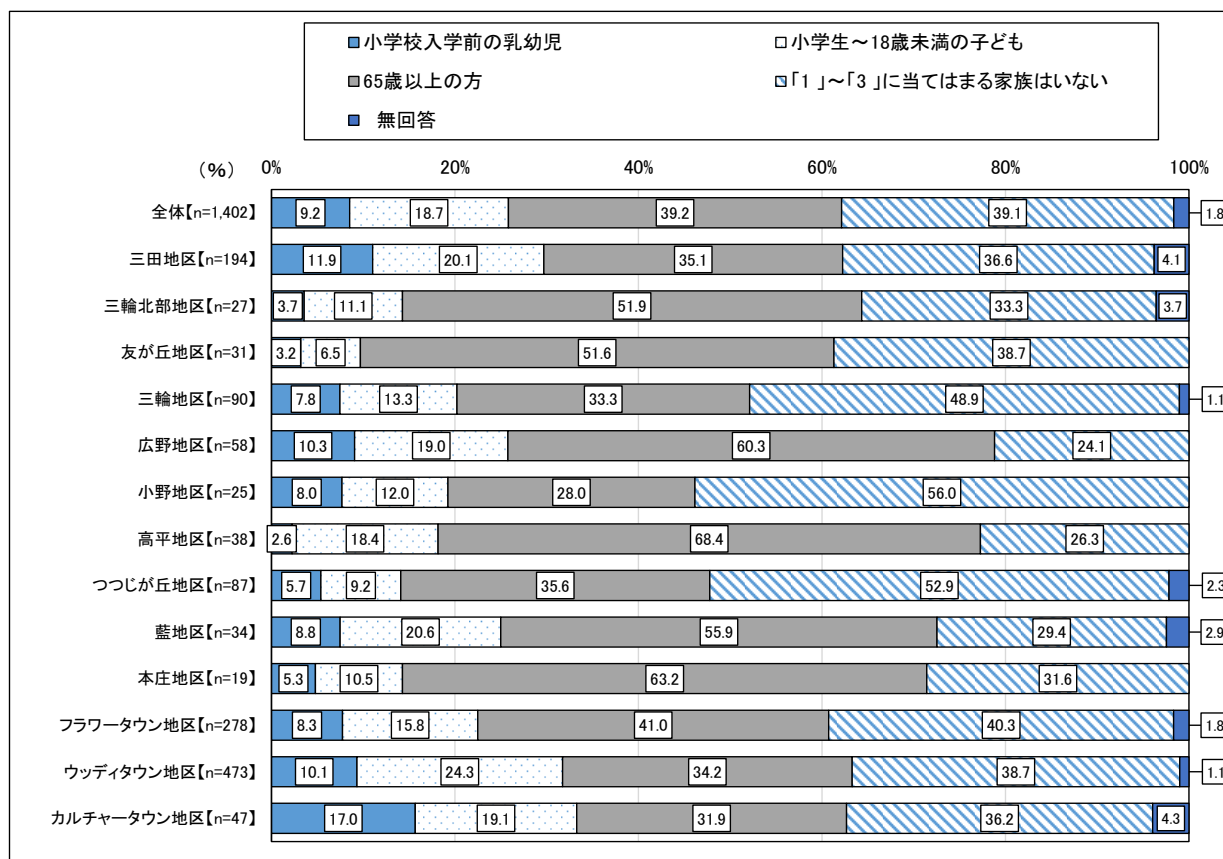


同居者の家族構成は、「65歳以上の方」が39.2%と最も多くなっています。次いで『「1」～「3」に当てはまる家族はいない』(39.1%)、「小学生～18歳未満の子ども」(18.7%)の順となっています。

年代別にみると、10歳代、20歳代及び50歳代では『「1」～「3」に当てはまる家族はいない』が最も多くなっています。30歳代では「小学校入学前の乳幼児」、40歳代は「小学生～18歳未満の子ども」、60歳代以上では「65歳以上の方」が最も多くなっており、年代ごとの特徴がうかがえます。



【地区別】



【備考】

三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

地区別にみると、『「1」～「3」に当てはまる家族はいない』は、小野地区が56.0%と最も多くなっています。次いで、つつじが丘地区(52.9%)、三輪地区(48.9%)、フラワータウン地区(40.3%)の順となっています。

「65歳以上の方」は、高平地区が68.4%と最も多くなっています。次いで、本庄地区(63.2%)、広野地区(60.3%)、藍地区(55.9%)、三輪北部地区(51.9%)の順となっています。

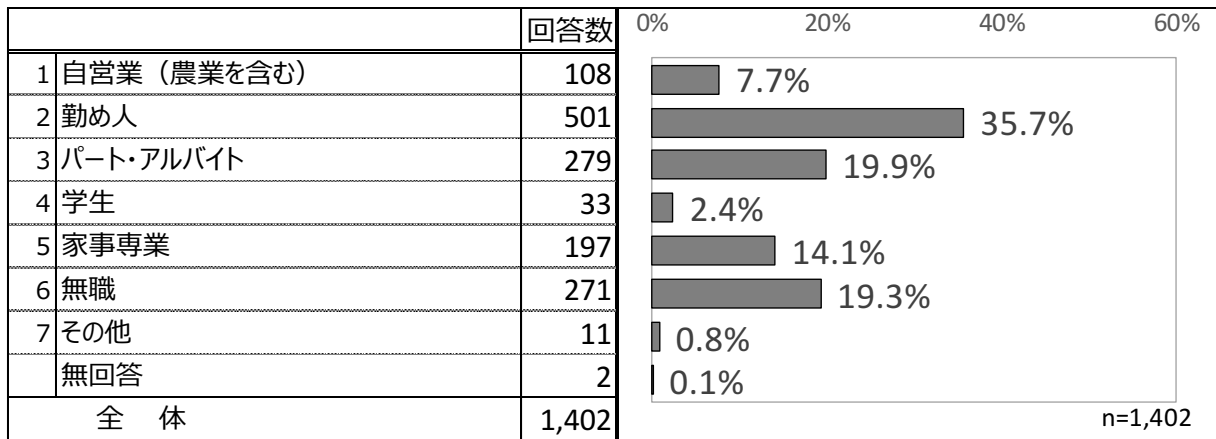
「小学生～18歳未満の子ども」は、ウッディタウン地区が24.3%と最も多くなっています。次いで、藍地区(20.6%)、三田地区(20.1%)、カルチャータウン地区(19.1%)、広野地区(19.0%)の順となっています。

「小学校入学前の乳幼児」は、カルチャータウン地区が17.0%と最も多くなっています。次いで、三田地区(11.9%)、広野地区(10.3%)、ウッディタウン地区(10.1%)、藍地区(8.8%)の順となっています。

II 調査結果

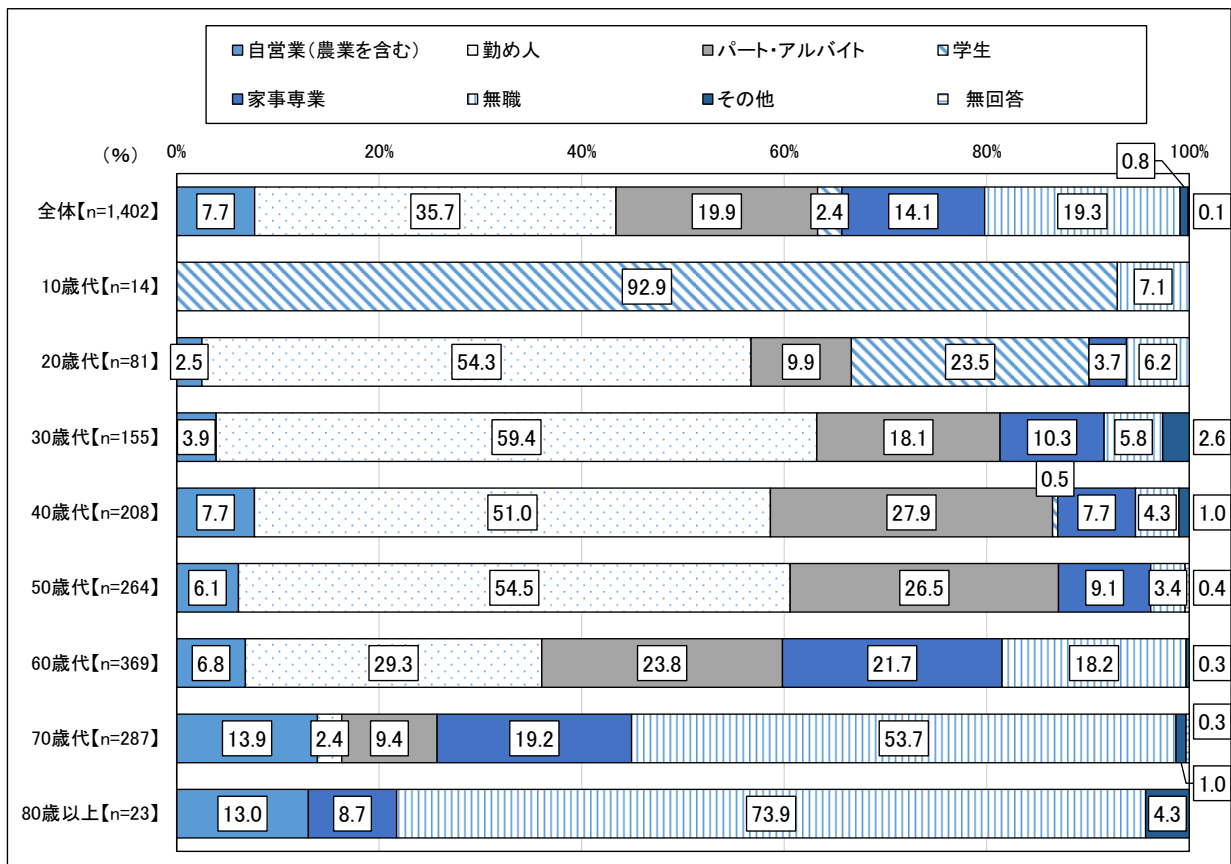
(5) 職業

問5 あなたの職業を選んでください。(〇は1つ)



※「その他」の内容：会社役員、NPO 等

【年代別】

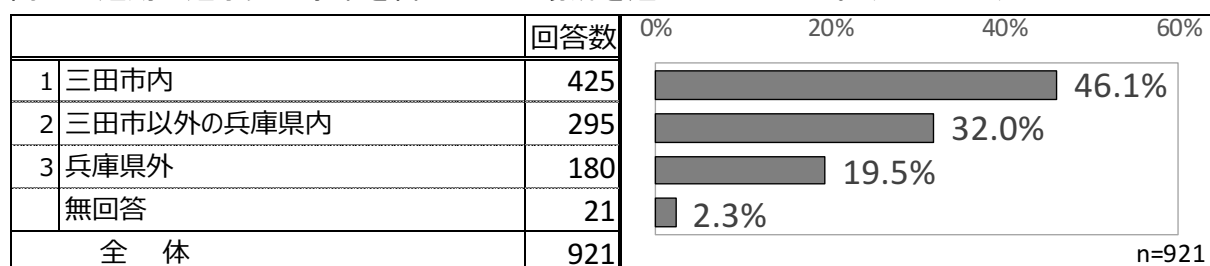


職業は、「勤め人」が35.7%と最も多くなっています。次いで、「パート・アルバイト」が19.9%、「無職」が19.3%となっています。

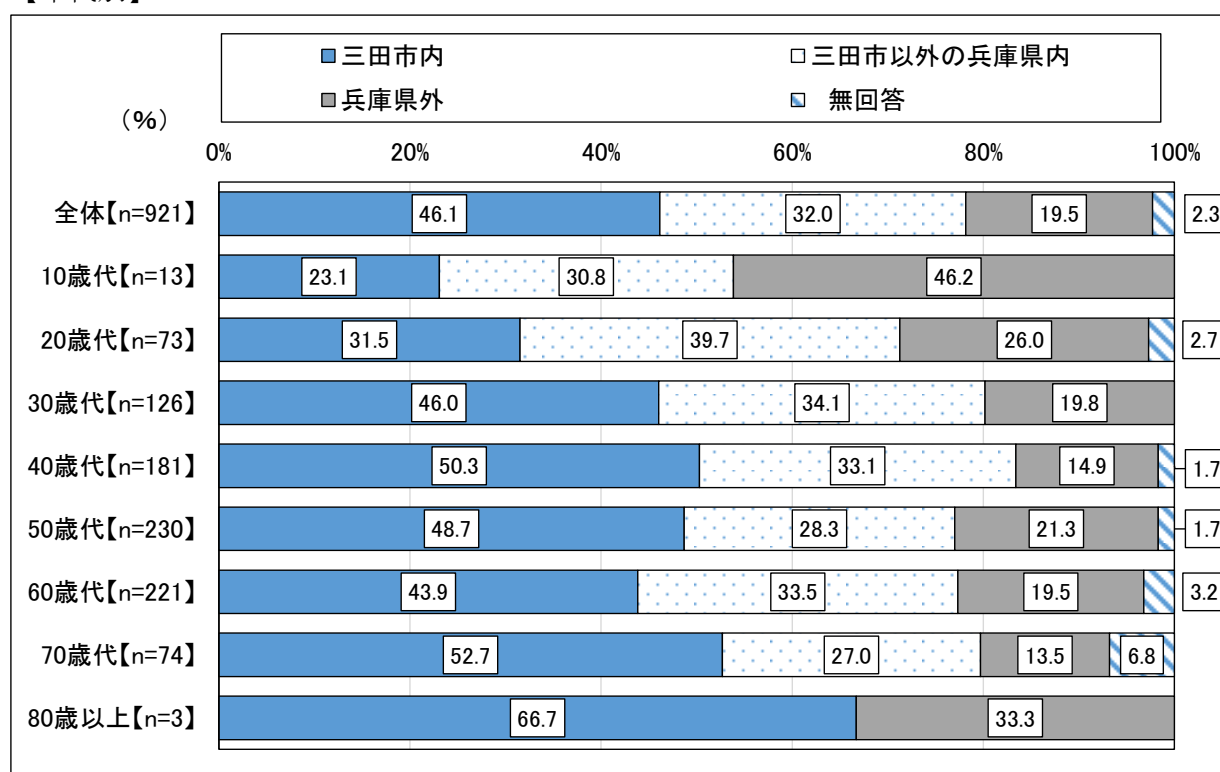
年代別にみると、10歳代は「学生」が92.9%となっています。20歳代は「勤め人」が54.3%を占めています。次いで、「学生」(23.5%)、「パート・アルバイト」(9.9%)となっています。30～50歳代は、「勤め人」が50%を超えています。60歳代は「勤め人」(29.3%)、「パート・アルバイト」(23.8%)、「家事専業」(21.7%)、「無職」(18.2%)となっています。70歳代以上は、「無職」が最も多くなっています。

(6) 通勤、通学先

問6 通勤・通学先や事業を営んでいる場所を選んでください。(〇は1つ)



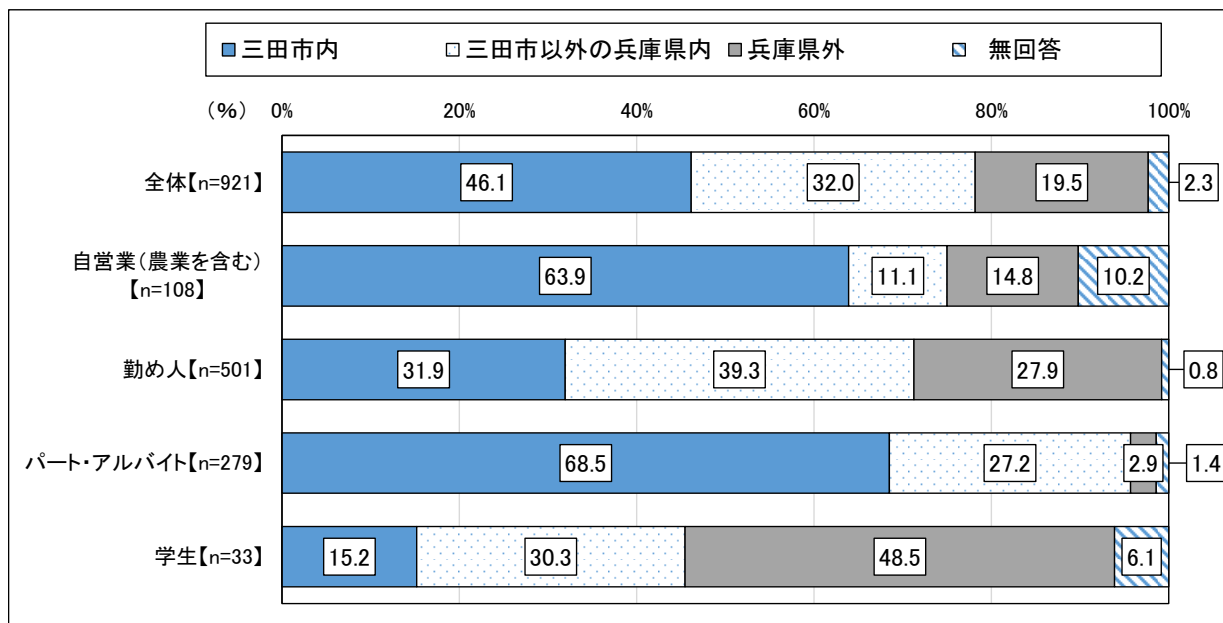
【年代別】



職業で「自営業（農業を含む）」「勤め人」「パート・アルバイト」「学生」を選択した 921 人を対象に、通勤・通学先について尋ねたところ、「三田市内」が 46.1%と最も多くなっています。次いで、「三田市以外の兵庫県内」(32.0%)、「兵庫県外」(19.5%)の順となっています。

年代別にみると、40歳代、70歳代及び80歳以上は「三田市内」が半数を超えています。

【職業別】



職業別にみると、「自営業（農業を含む）」及び「パート・アルバイト」は「三田市内」が60%を超えています。

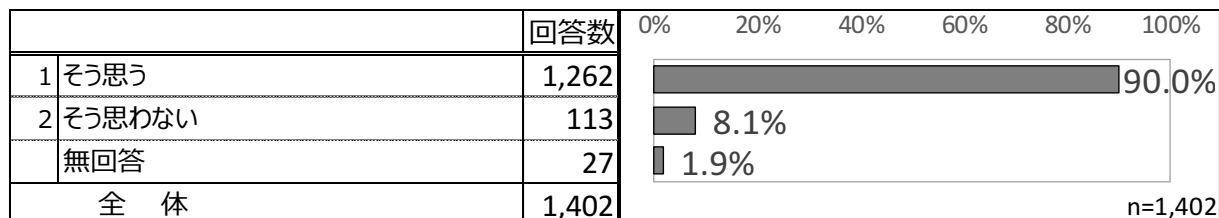
「勤め人」は、「三田市内」、「三田市以外の兵庫県内」及び「兵庫県外」が、それぞれ30%前後であり、ほぼ同数となっています。

「学生」は、三田市外が70%を超えており、職業による特徴がうかがえます。

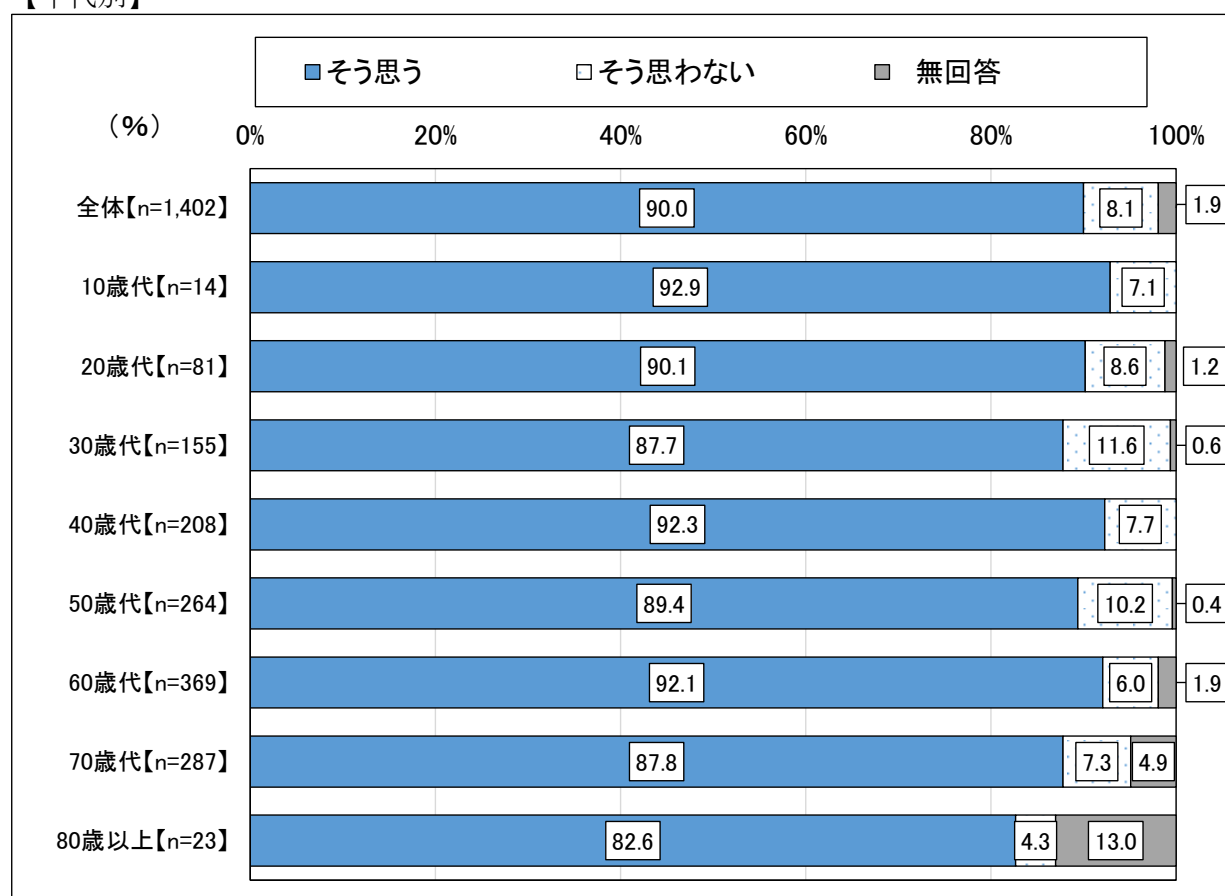
## 2. まちづくりや市政全般について

### (7) 人権問題の解決に向けて

問7 あなたは、人権問題の解決に向けて、社会全体で取り組むとともに、自分も努力すべきだと思いますか。(〇は1つ)



#### 【年代別】



人権問題の解決に向けて社会全体での取り組みとともに、自分も努力すべきと思うかについては、「そう思う」が90.0%、「そう思わない」が8.1%となっています。

年代別で見ると、すべての年代で「そう思う」が最も多くなっており、大きな差は見られません。最も高い割合は、10歳代の92.9%となっています。次いで、40歳代(92.3%)、60歳代(92.1%)の順となっています。

一方、80歳以上が82.6%と最も低くなっています。

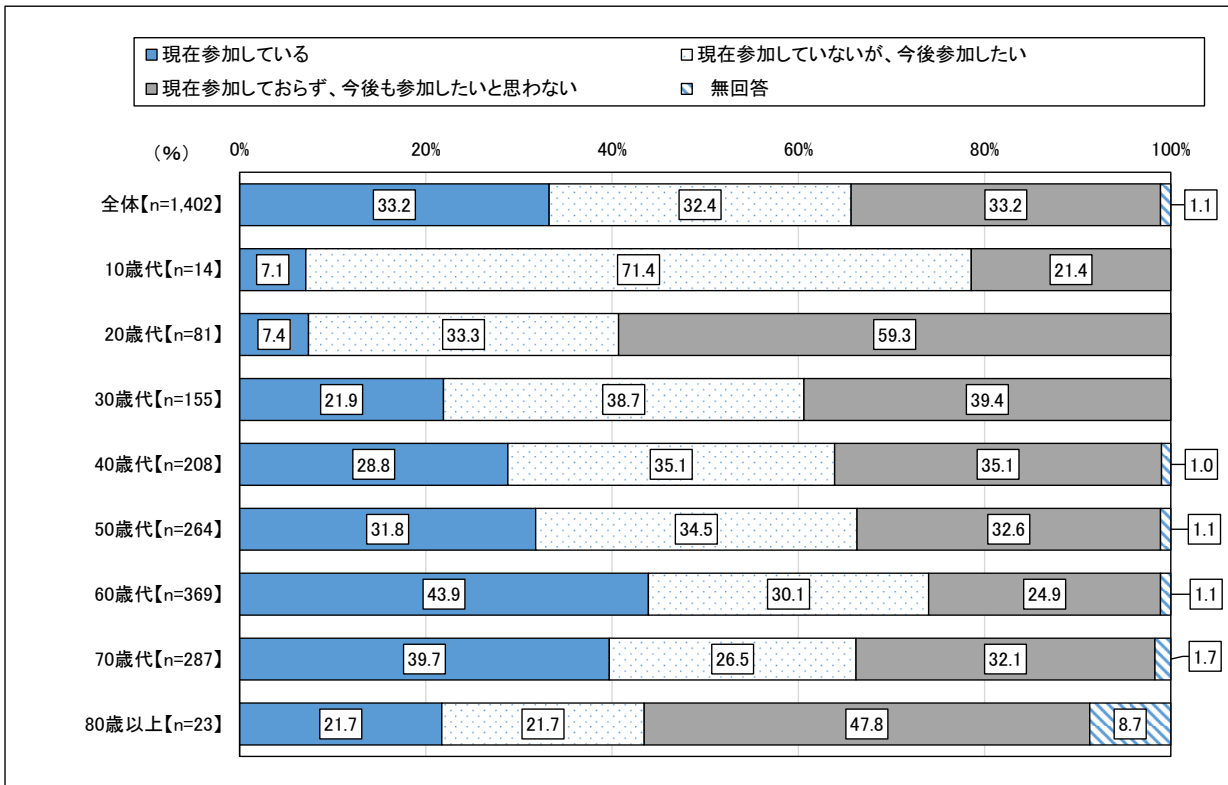
II 調査結果

(8) 地域活動への参加について

問8 あなたは、地域活動（自治会の活動やボランティアの活動など）に参加していますか。  
 (○は1つ)

	回答数	0%	20%	40%	60%
1 現在参加している	466	33.2%			
2 現在参加していないが、今後参加したい	454	32.4%			
3 現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない	466	33.2%			
無回答	16	1.1%			
全体	1,402	n=1,402			

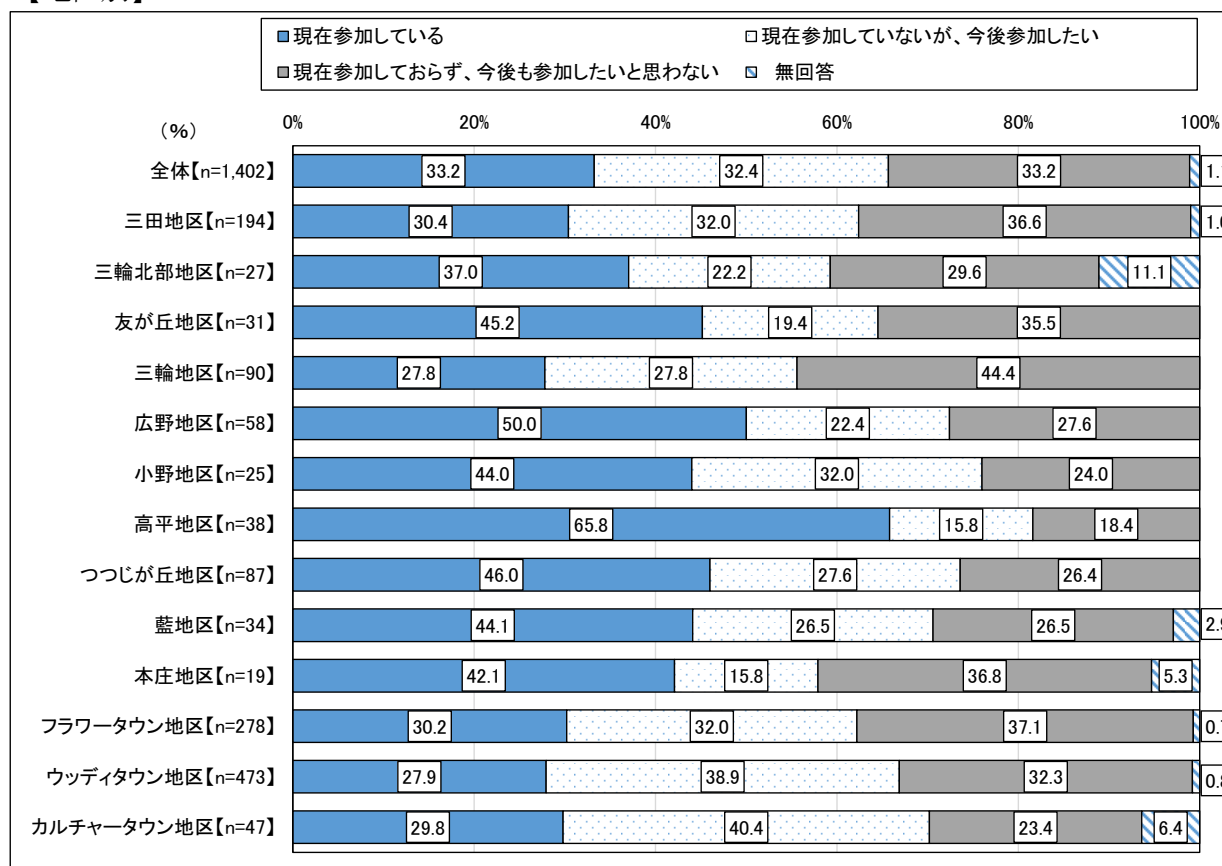
【年代別】



地域活動への参加状況については、「現在参加している」が33.2%、「現在参加していないが、今後参加したい」が32.4%、「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が33.2%となっています。

年代別にみると、20歳代は「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が59.3%と半数を超えています。一方、「現在参加している」は、60歳代が43.9%で最も多くなっています。また、「現在参加していないが、今後参加したい」は、10歳代が71.4%で最も多くなっており、次いで30歳代が38.7%となっています。20歳代は「現在参加している」、「現在参加していないが、今後参加したい」を合わせても40.7%にとどまっています。

【地区別】



【備考】

三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

地区別にみると、「現在参加している」は広野地区、高平地区で半数以上となっています。「現在参加していないが、今後参加したい」は、カルチャータウン地区（40.4%）、ウッディタウン地区（38.9%）で高くなっています。

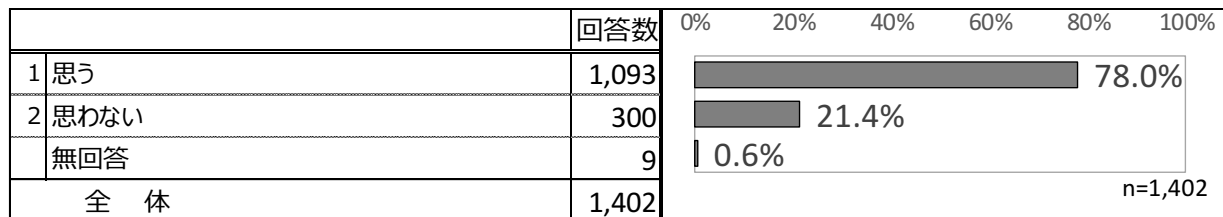
一方「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」は、三輪地区（44.4%）、フラワータウン地区（37.1%）で高くなっています。

## II 調査結果

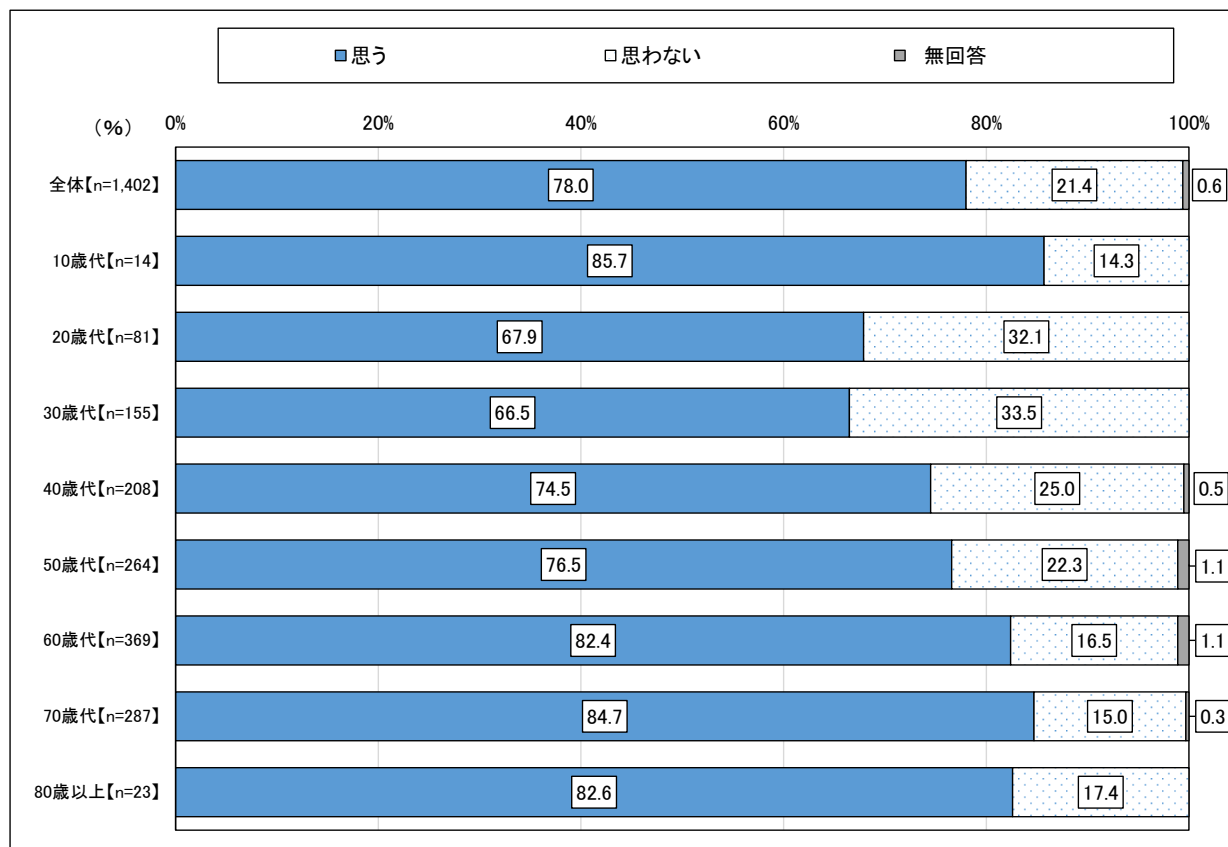
### (9) 隣近所との助け合いの可否について

問9 あなたは、隣近所の人と「困った時に助け合うことができる」と思いますか。

(○は1つ)



#### 【年代別】

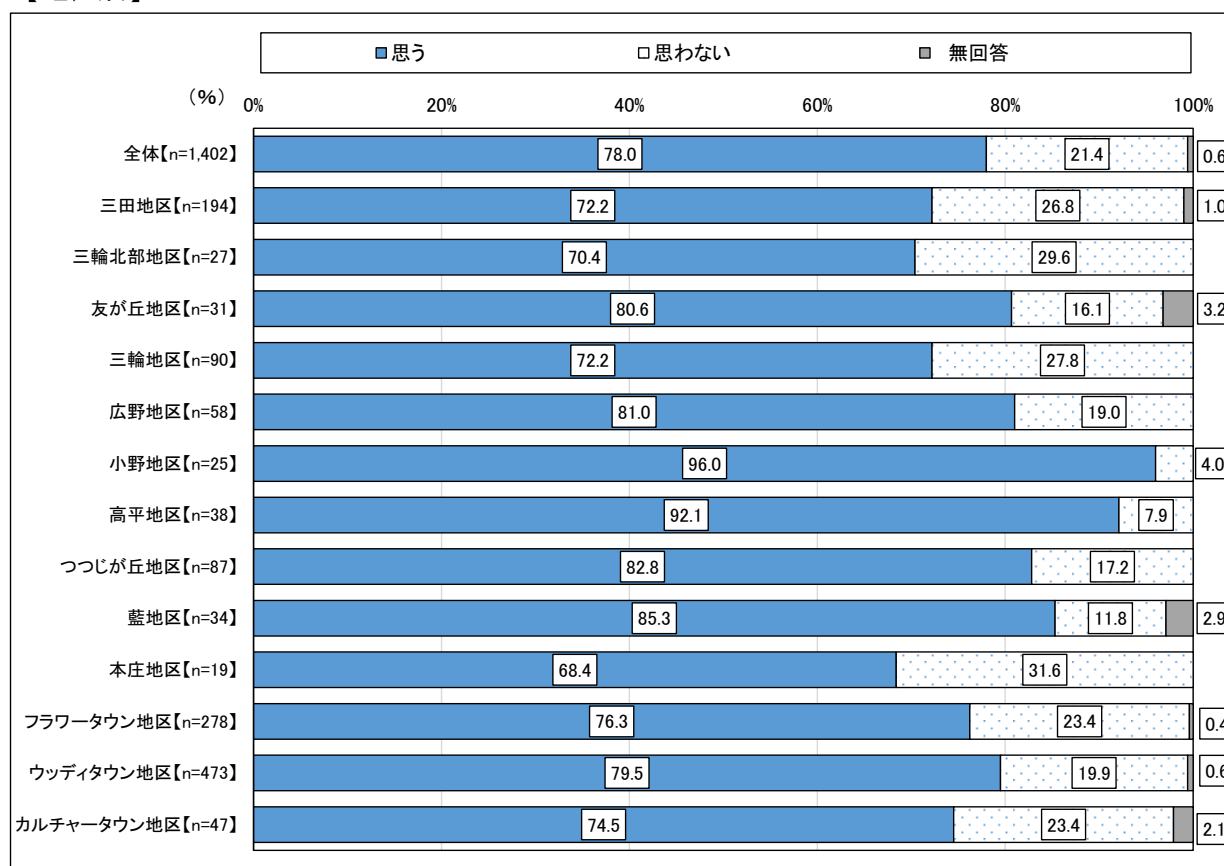


隣近所との助け合いの可否については、「思う」が78.0%、「思わない」が21.4%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「思う」が最も多くなっています。最も高い割合は、10歳代の85.7%となっており、一方で30歳代では66.5%と最も低い割合となっています。また、年齢層が高いほど隣近所との助け合いができると思える割合が高い傾向にあります。



【地区別】



【備考】

三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

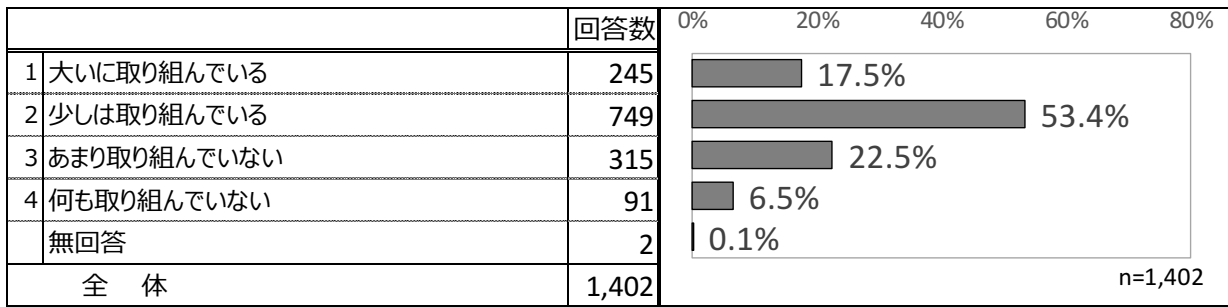
藍地区：つつじが丘地区を除く。

地区別にみると、「思う」は小野地区（96.0%）、高平地区（92.1%）藍地区（85.3%）の順となっています。一方「思わない」は本庄地区（31.6%）、三輪北部地区（29.6%）、三輪地区（27.8%）の順となっています。

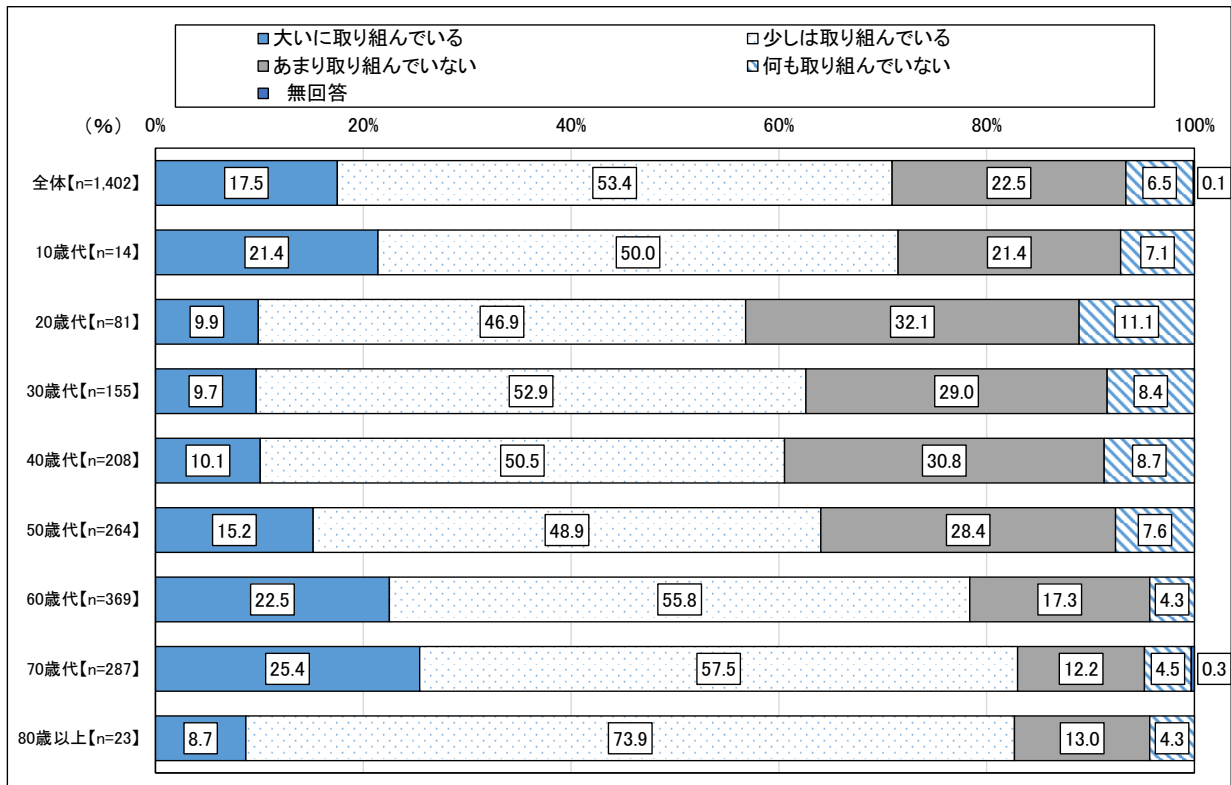
II 調査結果

(10) 日常生活での健康づくりの取り組み状況

問 10 あなたは、日常生活で健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)



【年代別】



日常生活での健康づくりの取り組みについては、「少しは取り組んでいる」が53.4%と最も多くなっています。次いで、「あまり取り組んでいない」(22.5%)、「大いに取り組んでいる」(17.5%)の順となっています。

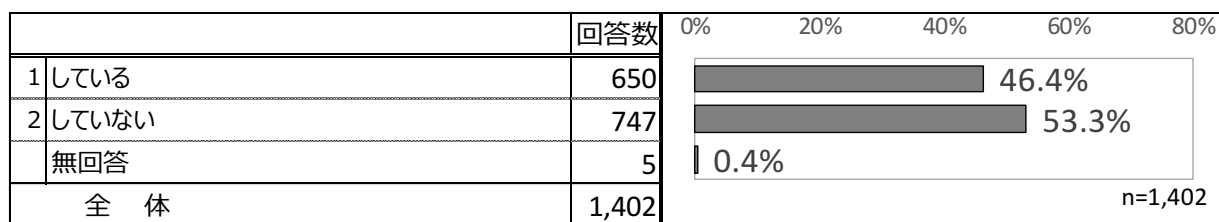
「大いに取り組んでいる」と「少しは取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は、70.9%となっています。

一方「あまり取り組んでいない」と「何も取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』は、29.0%となっています。

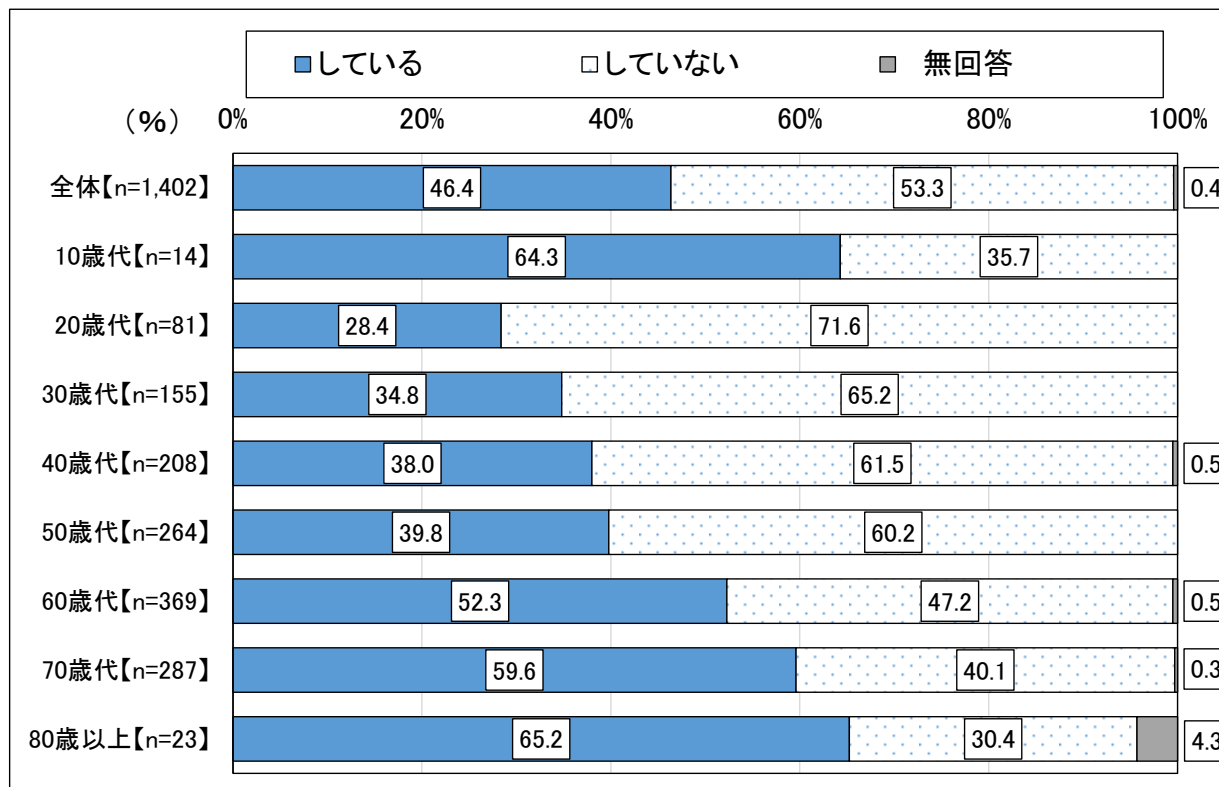
年代別にみると、各年代とも「少しは取り組んでいる」が最も多くなっています。『取り組んでいる』は、70歳代以上で約80%を占めており、30～50歳代では約60%、20歳代が56.8%と最も低い割合となっています。

**(11) 週一回以上の運動やスポーツの実践状況**

問 11 あなたは、週一回以上運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)



**【年代別】**



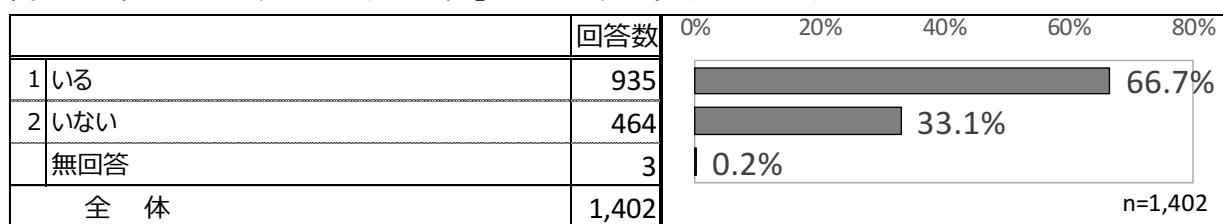
週1回以上の運動やスポーツの実践状況については、「している」が46.4%、「していない」が53.3%となっています。

年代別にみると、「している」は80歳以上が65.2%と最も多く、次いで10歳代が64.3%となっています。一方「していない」は、20～50歳代で60%を超えており、年代による違いがみられます。

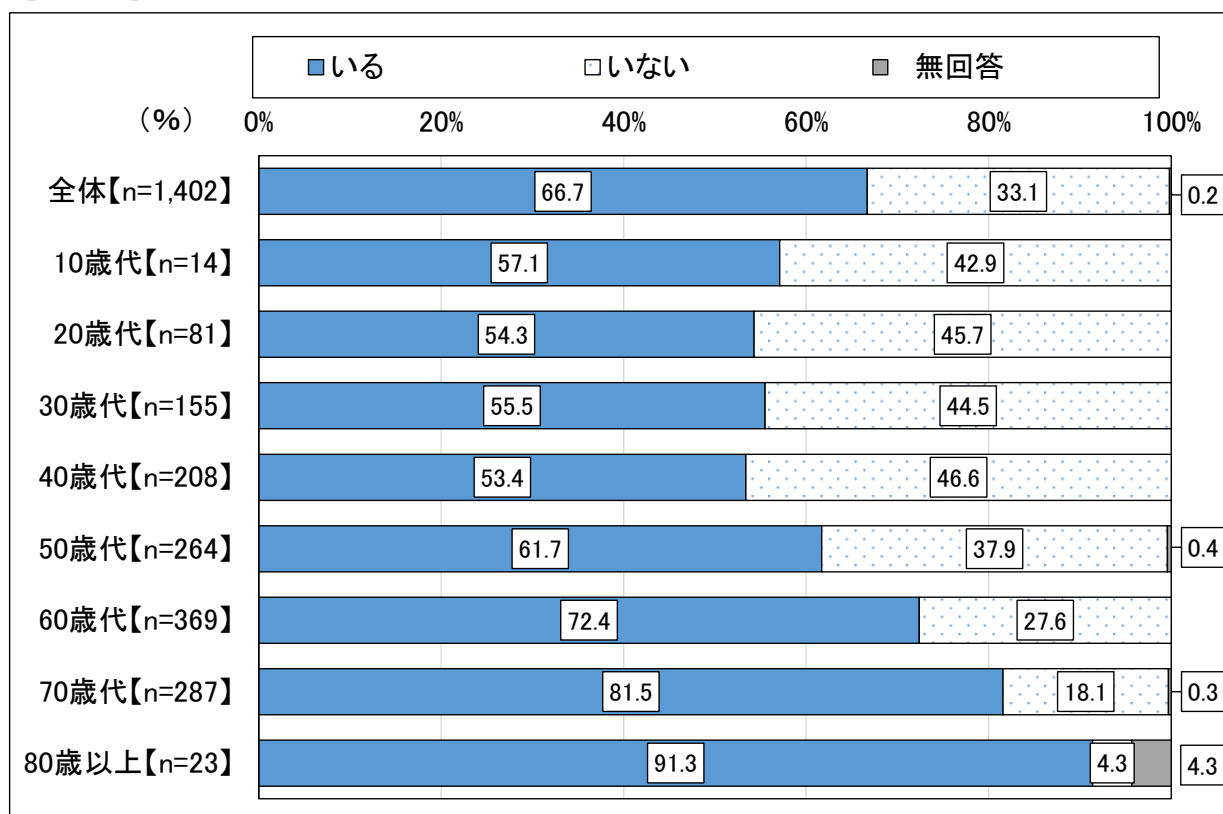
II 調査結果

**(12) 「かかりつけ医」の有無**

問 12 あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(〇は1つ)



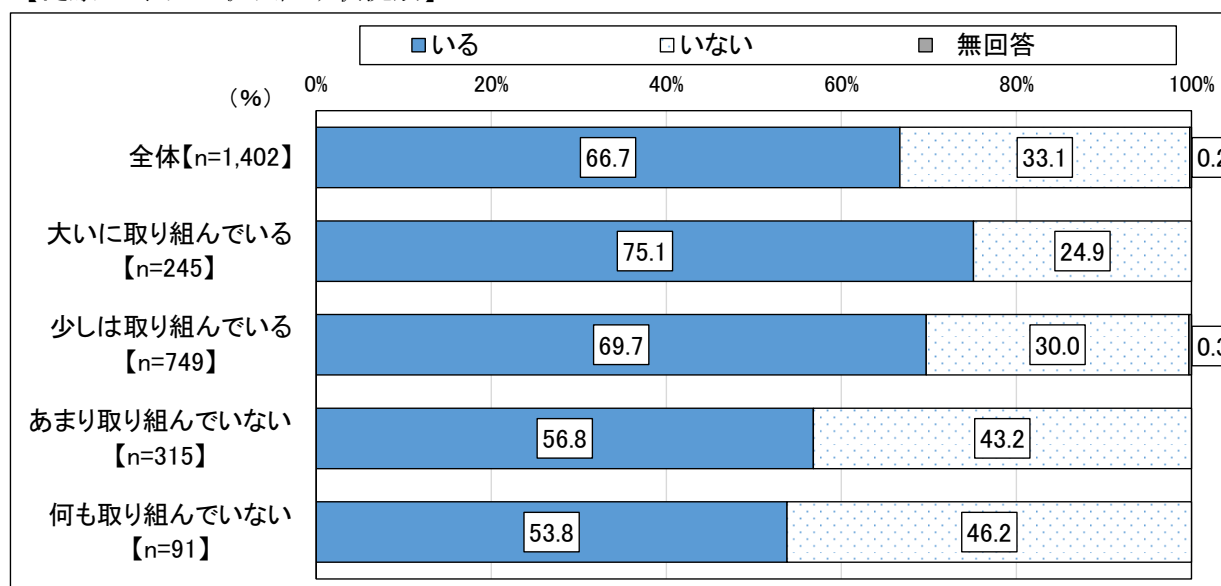
【年代別】



「かかりつけ医」の有無については、「いる」が66.7%、「いない」が33.1%となっています。

年代別にみると、50歳代以降は、年齢層が高くなるほど「いる」の比率が高くなる傾向がみられます。

【健康づくりの取り組み状況別】

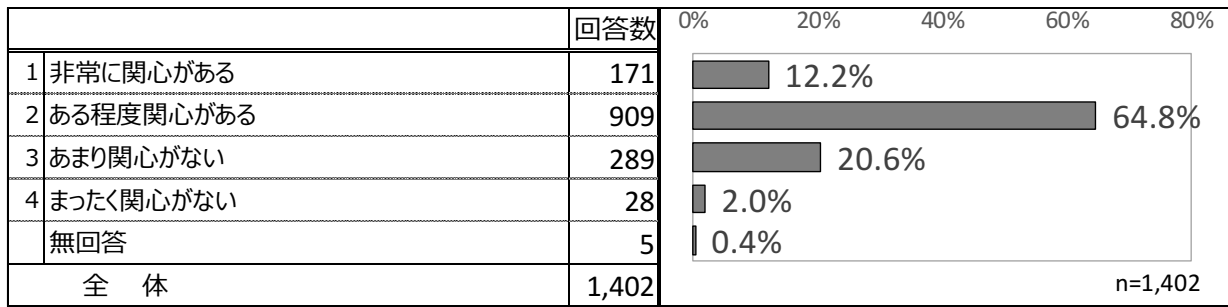


「かかりつけ医」の有無を、健康づくりの取り組み状況別にみると、「大いに取り組んでいる」では、75.1%が「いる」と回答しています。「何も取り組んでいない」では、53.8%であり、健康づくりに取り組んでいる人ほど、「かかりつけ医」がいる傾向がみられます。

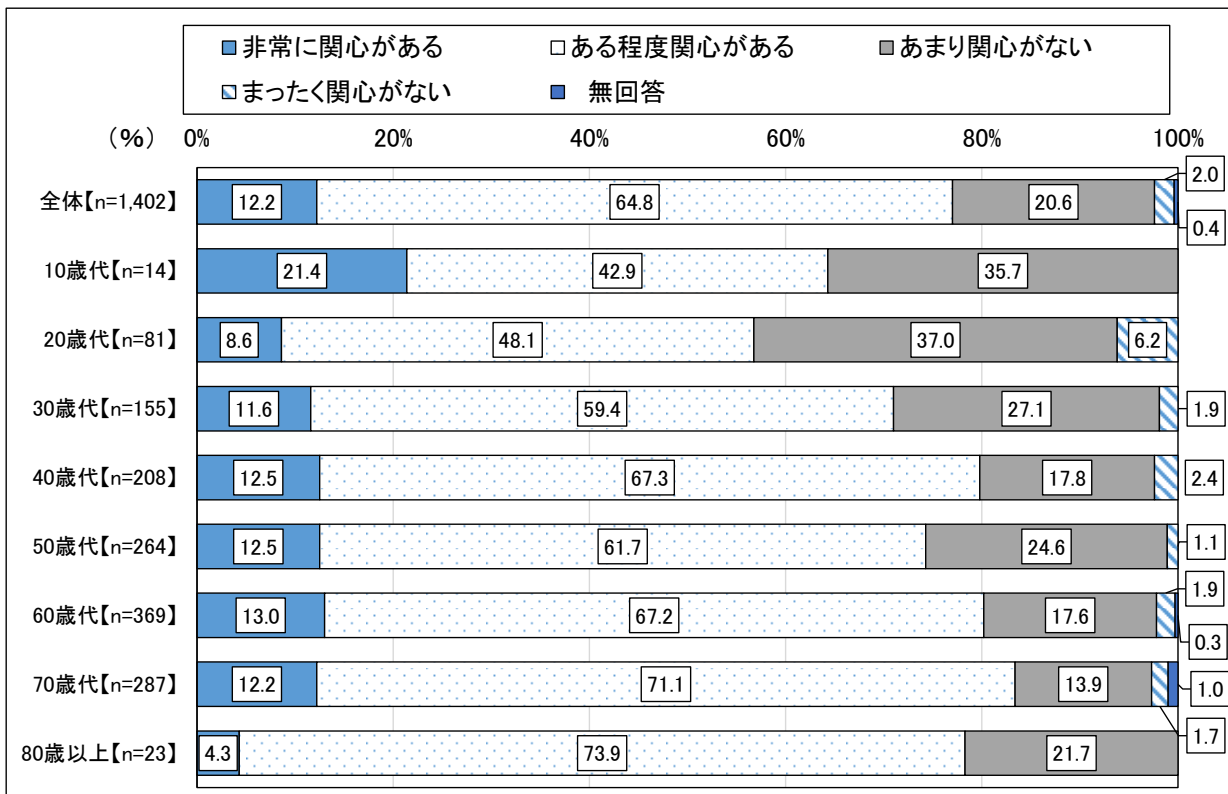
II 調査結果

(13) 三田市のまちづくりに対する関心度

問 13 あなたは、三田市のまちづくりにどの程度関心がありますか。(○は1つ)



【年代別】



三田市のまちづくりへの関心度については、「ある程度関心がある」が64.8%と最も多くなっています。次いで、「あまり関心がない」(20.6%)、「非常に関心がある」(12.2%)の順となっています。

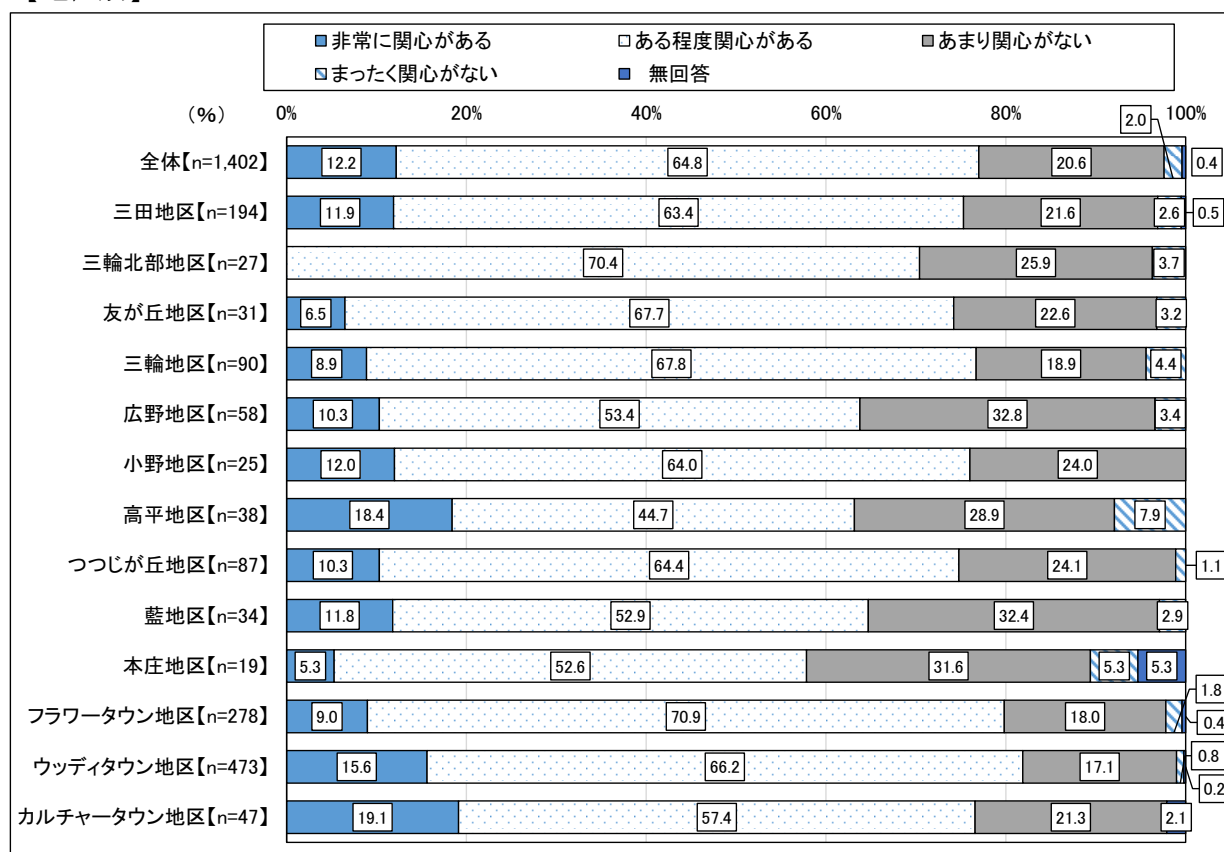
「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は、77.0%となっています。

一方、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』は、22.6%となっています。

年代別にみると、『関心がある』は30歳代以上で70%を超えており、関心の高さがうかがえます。

一方、10歳代(64.3%)、20歳代(56.7%)は他の年代に比べると関心が低くなっています。

【地区別】



【備考】

三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

地区別にみると、『関心がある』は三田地区、三輪北部地区、友が丘地区、三輪地区、小野地区、つつじが丘地区、フラワータウン地区、ウッディタウン地区、カルチャータウン地区で70%を超えており、関心の高さがうかがえます。

一方、広野地区(63.7%)、高平地区(63.1%)、藍地区(64.7%)、本庄地区(57.9%)は他の地区に比べると関心が低くなっています。

**(14) 三田市のまちづくりにまったく関心がない理由**

問 14 問 13 で「4 まったく関心がない」を選択した方にお聞きします。

三田市のまちづくりにまったく関心がない理由をご記入ください (30 文字まで)

問 13 で三田市のまちづくりに「まったく関心がない」と回答した 28 名を対象に、その理由を尋ねたところ 26 件の意見があり、以下の通りとなっています。

**【行政運営について】(8 件)**

- ・ まちづくりが何を意味するのか分からない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 件
- ・ 具体的な活動が分からず、関心が持てない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 三田市が何を指そうとしているのかわからない・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 市が取り組んでいるので積極的に関わろうと思わない・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 市長の考えに賛同できない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 子ども世帯、高齢者世帯への優遇ばかりされている・・・・・・・・・・ 1 件

**【まちへの思い】(9 件)**

- ・ 興味関心がない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 件
- ・ まちづくりは町中が中心で、それ以外は何もないから・・・・・・・・・・ 2 件
- ・ 地域によって開発の具合が違いすぎる・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 三田・新三田駅前の商業施設を見て魅力がないと思う・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 生涯住むつもりがないから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件

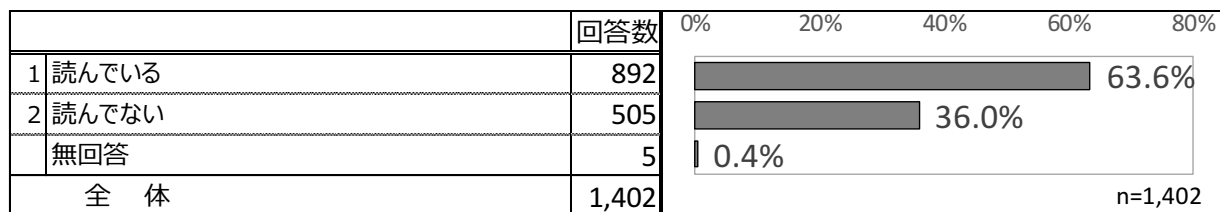
**【その他】(9 件)**

- ・ 家庭や仕事で忙しく、時間がない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 件
- ・ 高齢、障害のため・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 件
- ・ 関わる場面がわからない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 特にない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件

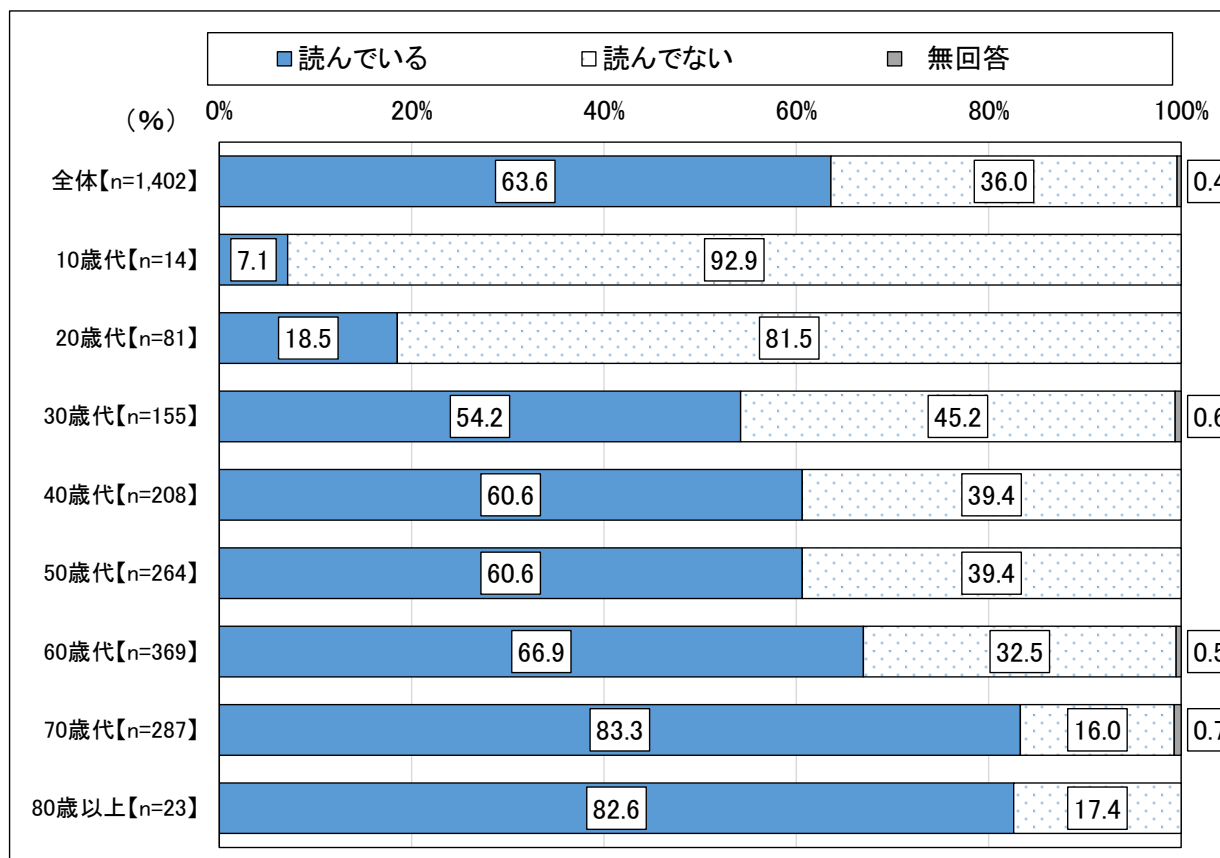


**(15) 広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集の閲読状況**

問 15 あなたは、広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等を読んでいますか。(○は1つ)



**【年代別】**

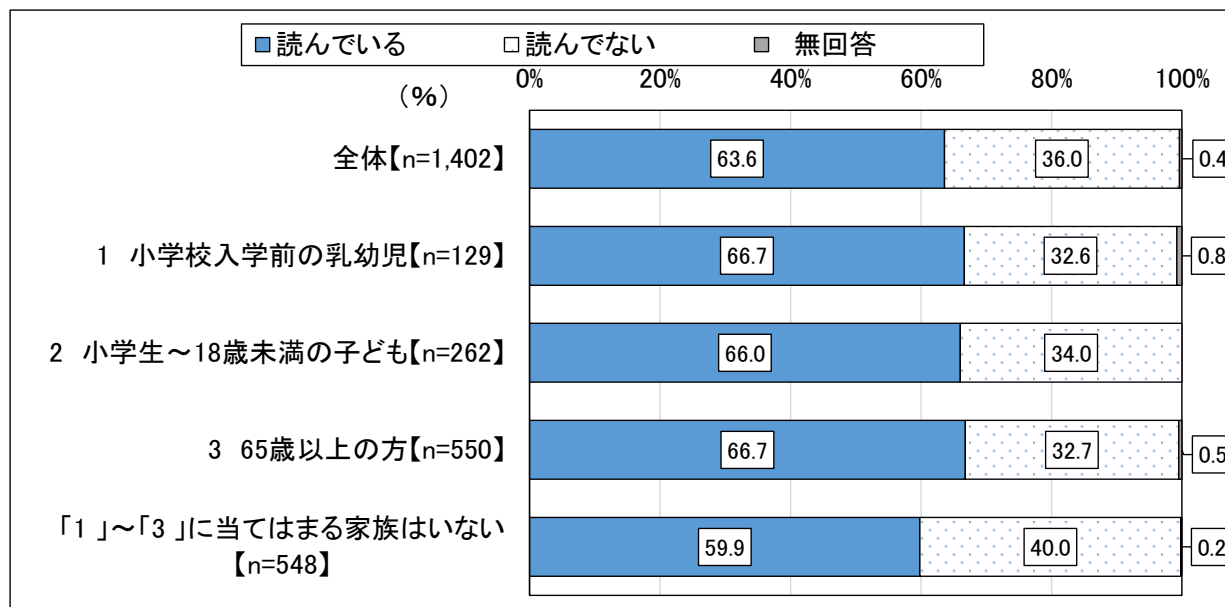


広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況については、「読んでいる」が63.6%、「読んでない」が36.0%となっています。

年代別にみると、30歳代以上から「読んでいる」が半数を占めています。最も高い割合は70歳代の83.3%となっており、年齢層が高くなるほど上昇する傾向にあります。

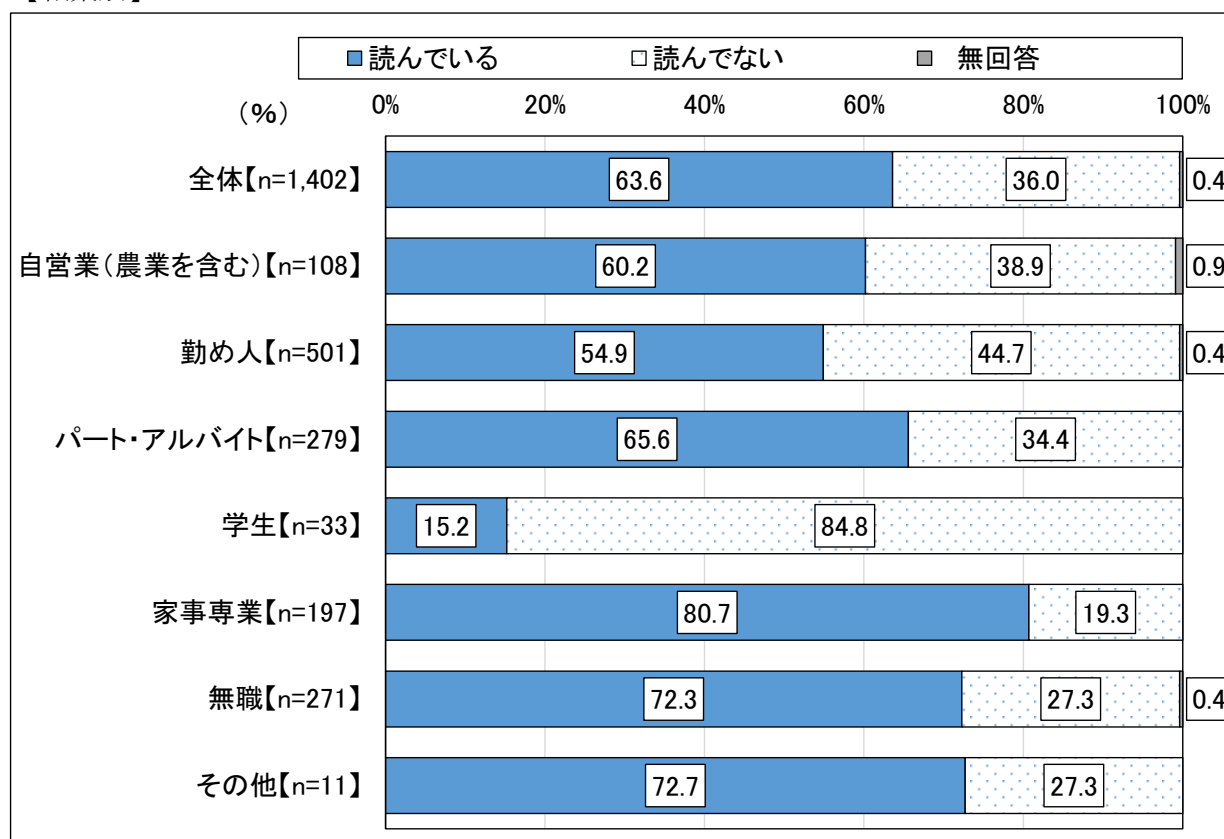
一方10歳代(7.1%)、20歳代(18.5%)はかなり低い割合にとどまっています。

【家族構成員別】



家族構成員別でみると、割合に大きな差はなく、「読んでいる」が半数以上という結果となっています。

【職業別】



※「その他」の内容：会社役員、NPO 等

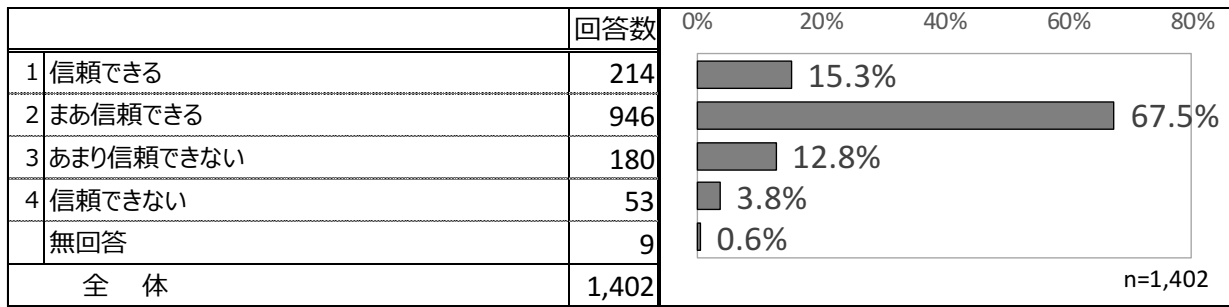
職業別にみると、「学生」以外は「読んでいる」が半数を超えています。

「家事専業」が80.7%と最も多く、次いで「その他」(72.7%)、「無職」(72.3%)、「パート・アルバイト」(65.6%)の順となっています。

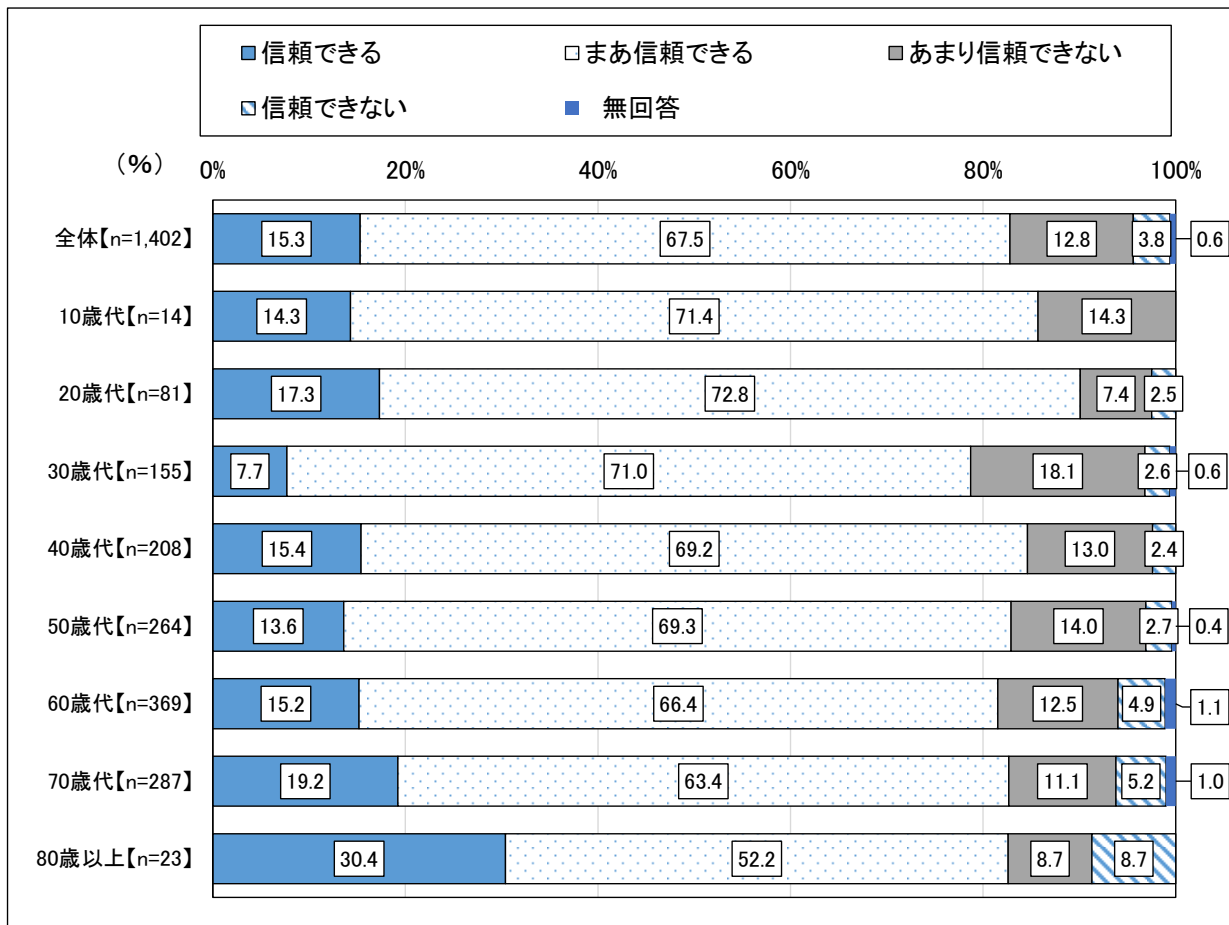
II 調査結果

(16) 三田市役所に対する信頼の程度

問 16 あなたは、三田市役所を信頼できますか。(○は1つ)



【年代別】



三田市に対する信頼の程度は、「まあ信頼できる」が67.5%と最も多く、「信頼できる」が15.3%となっており、「信頼できる」と「まあ信頼できる」を合わせた『信頼できる』は82.8%となっています。

一方「あまり信頼できない」は12.8%、「信頼できない」は3.8%となっており、「あまり信頼できない」と「信頼できない」を合わせた『信頼できない』は16.6%となっています。

年代別でみると、『信頼できる』は全ての年代で80%前後となっており、全年代で信頼度が高くなっています。

**(17) 三田市役所を信頼できない理由**

問 17 問 16 で「4 信頼できない」を選択した方にお聞きします。

三田市役所を信頼できない理由をご記入ください。(30 文字まで)

問 16 で三田市役所を「信頼できない」と回答した 53 名を対象に、その理由を尋ねたところ 51 件の意見があり、以下の通りとなっています。

**【行政運営について】(30 件)**

- ・ 政策に反対・不信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1 件
- ・ 政策に関して決定した理由や経緯の説明が十分でない・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 件
- ・ 市長の行動や言動が信頼できない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 件
- ・ 市民の意見を聞かずに政策を進めている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 件
- ・ 子育て支援施策が変わり、子育てしにくい市になった・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 件
- ・ 平均年収順位に合わせて三田市の職員給与を見直すべき・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ バスの本数が少ないなど高齢者にとって不便なことが多い・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 弱者の人がまちを利用しやすいようにしてほしい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ スマホ等の操作が苦手な人向けに、教えてもらえる機会がほしい・・・・・・・・ 1 件
- ・ フラワータウン地区の活性化にもっと力を入れてほしい・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 予算がないので、何も期待できない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件

**【市職員の対応について】(17 件)**

- ・ 親身に対応してくれない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 件
- ・ 市民に対して十分な対応ができていない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 件
- ・ 職員の業務内容の知識不足が大きく、返答にムラがある・・・・・・・・・・・・・・ 2 件
- ・ 行政として一人一人が三田市の将来を真剣に考えていない・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 市民の事情よりも役所の都合を優先しているから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ あわただしい職員が多い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 電話で職員に相談しても回答がなかった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件

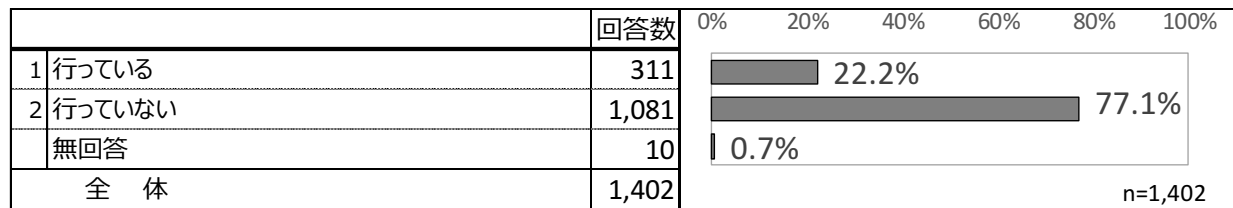
**【その他】(4 件)**

- ・ 何がしたいのかわからない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 信頼できない理由をしっかりと聞くべき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 電線が張りめぐらされていて見張られている気分になる・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ フラワーポットの設置場所に疑義がある・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件

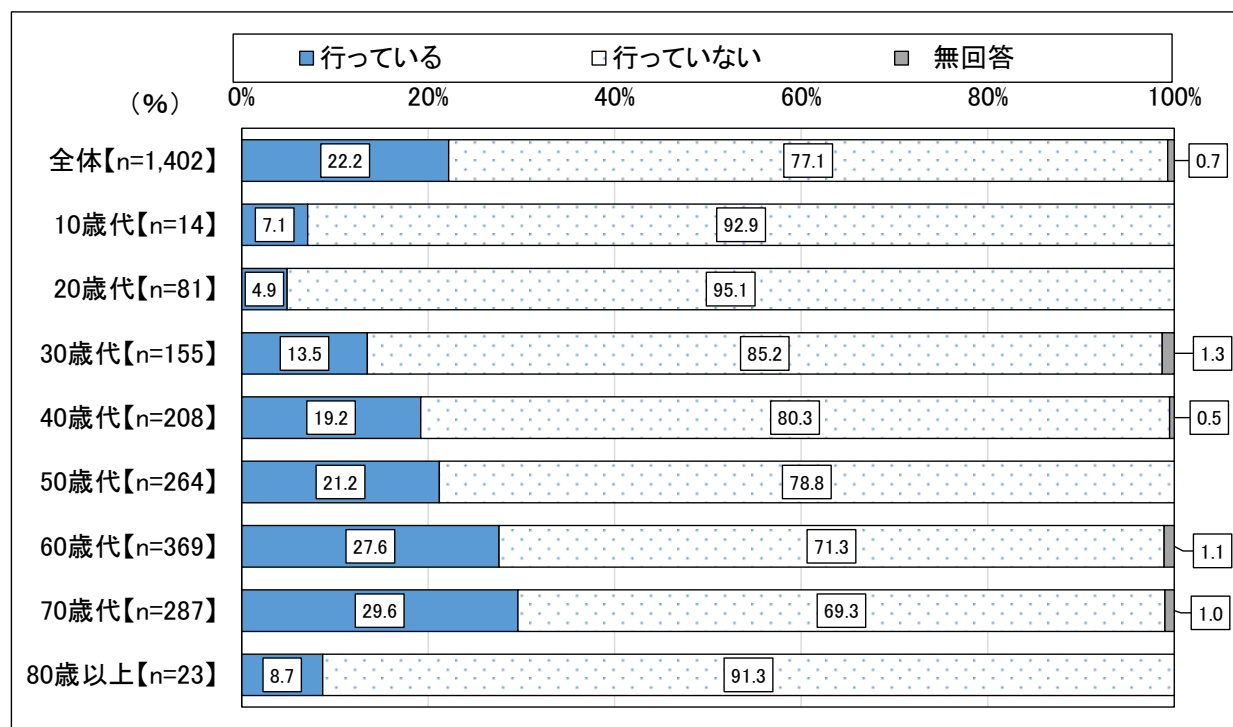
**(18) よりよい三田のまちのための取り組み状況**

問 18 あなたは、よりよい三田のまちのため意識して行っていることはありますか。

(○は1つ)



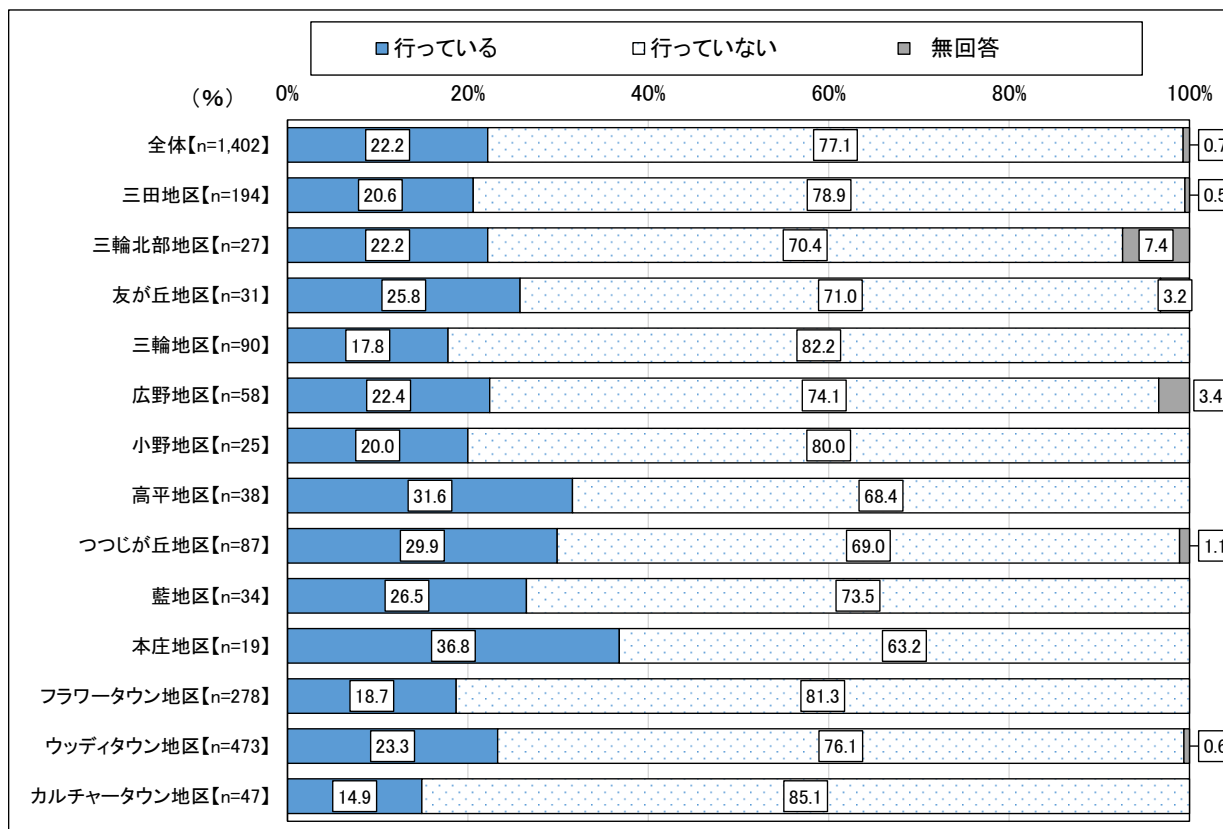
【年代別】



よりよい三田のまちのための取り組み状況については、「行っている」が 22.2%、「行っていない」が 77.1%となっています。

年代別にみると、「行っている」は、10歳代（7.1%）、20歳代（4.9%）、80歳以上（8.7%）は10%以下と低い傾向にあります。30歳代からは年代が上がるほど「行っている」の回答の割合が高い傾向にあります。

【地区別】



【備考】

三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

地区別にみると、「行っている」は、本庄地区が36.8%と最も多く、次いで高平地区（31.6%）、つつじが丘地区（29.9%）、藍地区（26.5%）、友が丘地区（25.8%）の順となっています。

一方で、「行っていない」は、カルチャータウン地区（85.1%）、三輪地区（82.2%）、フラワータウン地区（81.3%）、小野地区（80.0%）で80%を超えています。

**(19) よりよい三田市のまちのために行っている事例**

問 19 問 18 で「1 行っている」を選択した方にお聞きします。

あなたが行っていることをご記入ください。(30 文字まで)

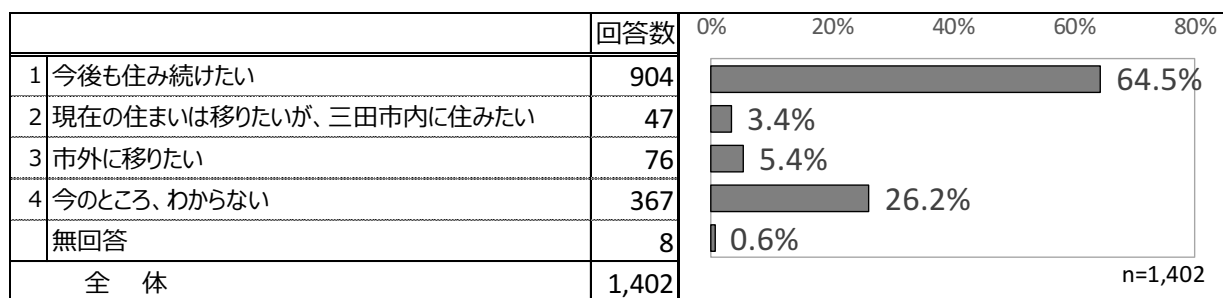
問 18 で三田のまちのため意識して「行っている」と回答した 311 名を対象に、その内容を尋ねたところ 306 件の意見があり、以下の通りとなっています。

- ・ 地域の行事（クリーンデー等）、イベントへの参加・・・・・・・・・・ 114 件
- ・ 町のパトロールや登下校中の子どもの見守り、声かけ（挨拶）・・・・・・・・ 38 件
- ・ 町の活動団体への参加、運営補助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29 件
- ・ 町のゴミ拾いやゴミの分別を積極的に行っている・・・・・・・・・・ 20 件
- ・ 町の清掃をしている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17 件
- ・ 高齢者の方や障害がある方へのサポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14 件
- ・ ボランティアに参加している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13 件
- ・ ご近所の方とのコミュニケーション、声かけ（挨拶）・・・・・・・・・・ 9 件
- ・ 地元商店の優先利用・三田産のものを購入するよう意識している・・・・ 9 件
- ・ 学校や活動団体に教育支援をしている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 件
- ・ 子育てに悩む家族のサポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 件
- ・ 里山保全・環境保護に参加している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 件
- ・ ポイ捨てをしないようにしている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 件
- ・ ふるさと納税をせずに、三田市に納税している・・・・・・・・・・・・ 2 件
- ・ 選挙に参加している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 件
- ・ 市政ニュースに関心を持ち、意見や意思を積極的に言うように心がけている・・ 2 件
- ・ 行政が民主的に実施されるように様々な活動を行っている・・・・・・・・ 1 件
- ・ 区のお祭りなどに寄付をしている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 公園整備の情報提供をしている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 三田市防災インストラクターとして活動している・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 市内のこども園に勤めている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 地域の村おこしに活動している（神社他）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 市政参加市民名簿に登録し、委員をしたことがある・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 広報さんだの既読後、PC にてアンケートで意見等返信している・・・・ 1 件
- ・ 子ども食堂への食糧支援を個人で行っている・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 家庭文庫を開き、子ども達の読書運動（環境）作りをしている・・・・ 1 件
- ・ 訪問看護の認知度を上げるため地域の方にお話している・・・・・・・・ 1 件
- ・ 毎週土曜日、少年野球のコーチをしている・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 前日ゴミ出ししている人に注意をしている・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 三田市の良さをいろいろな所でアピールしている・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ コンサートなどによく行っている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ きちんとした生活スタイルを心がけている・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ 自作の動画の BGM に三田市イメージソング「やさしい風の吹くまち」を使っている・・ 1 件
- ・ クラウドファンディングを行っている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・ アイドリングの車が迷惑なのでポータブルビデオに録るようにしている・・・・ 1 件

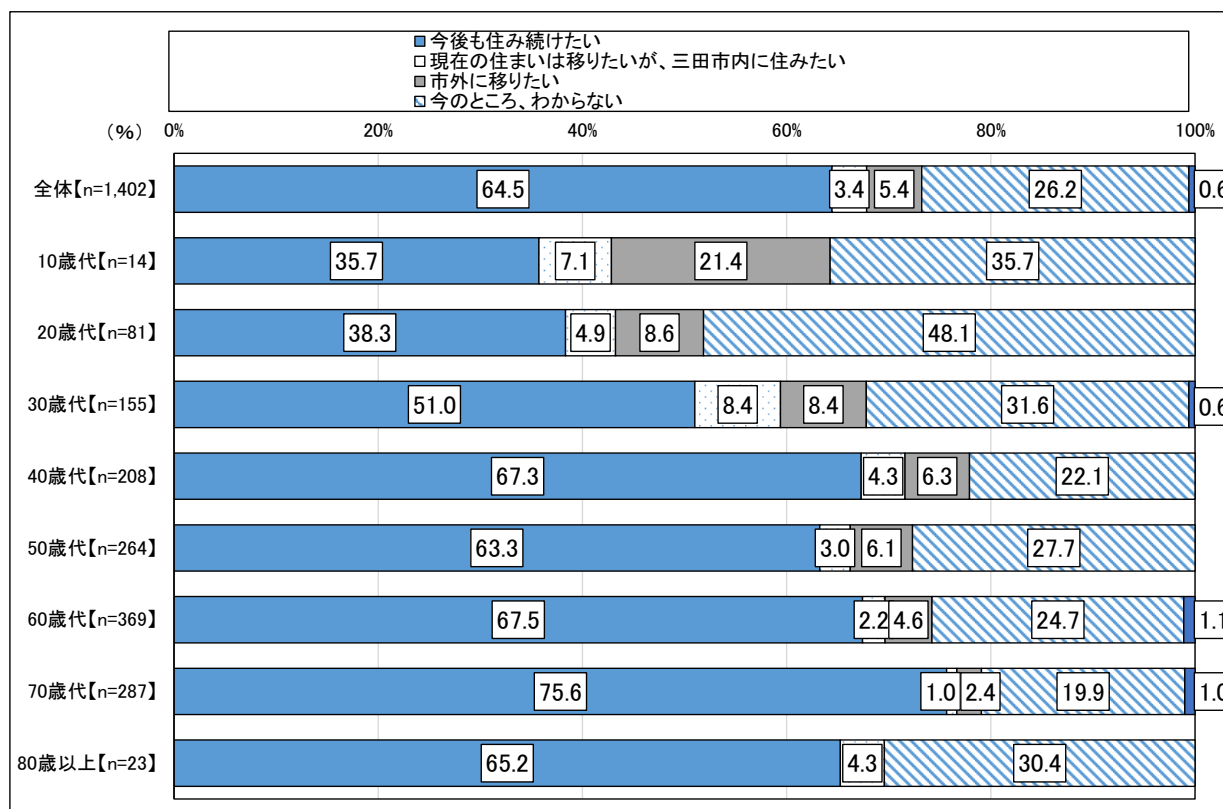


(20) 今後の三田市での居留意向

問 20 あなたは、これからも三田市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)



【年代別】



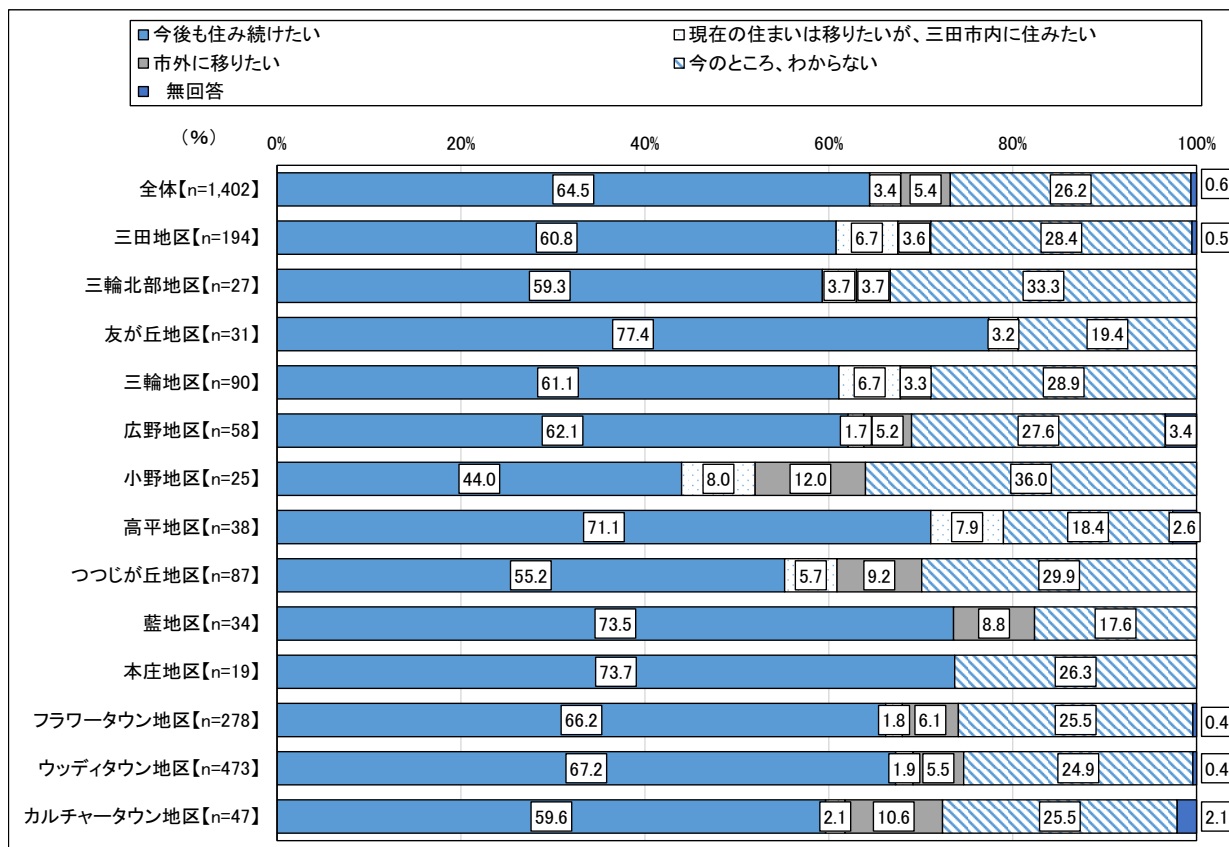
今後の三田市での居留意向は、「今後も住み続けたい」が64.5%と最も多くなっています。次いで、「今のところ、わからない」(26.2%)、「市外に移りたい」(5.4%)、「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」(3.4%)の順となっています。

年代別にみると、30歳以上の年代は「今後も住み続けたい」が最も多くなっており50%を超えています。

10歳代、20歳代では40%を下回る一方、「今のところ、わからない」と答える割合が他の年代と比べて高い結果となっています。

## II 調査結果

### 【地区別】



### 【備考】

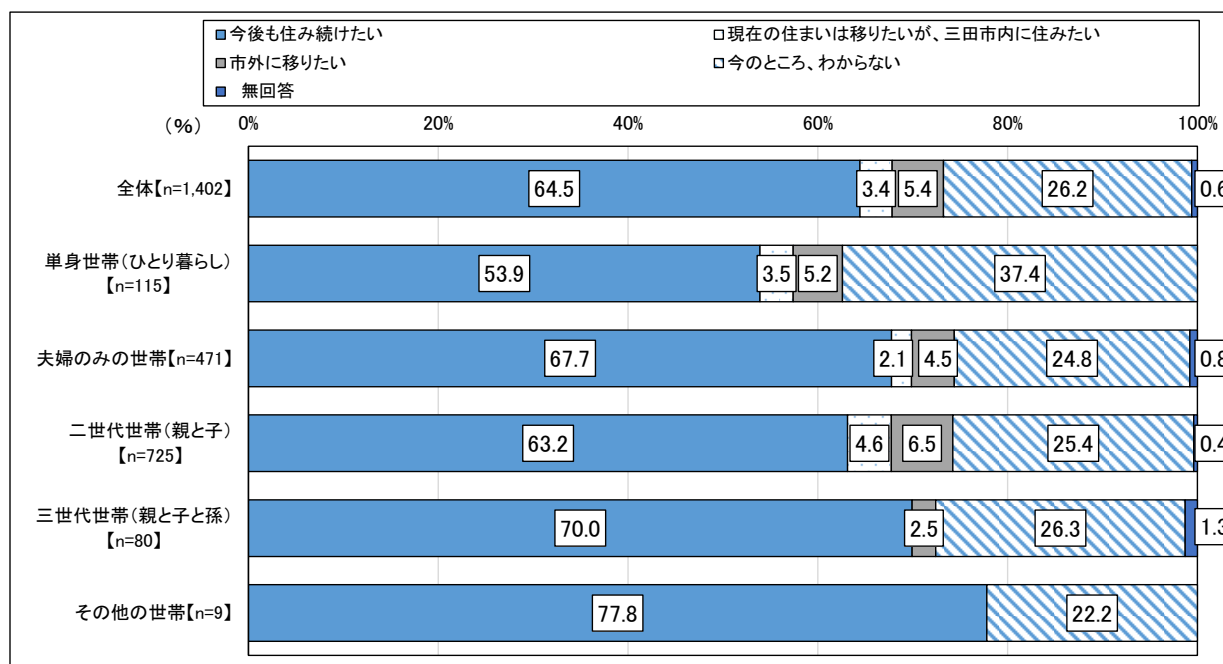
三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

地区別にみると、各地区とも「今後も住み続けたい」が最も多くなっています。友が丘地区では77.4%と最も高くなっており、小野地区では44.0%と最も低くなっています。

【世帯構成別】



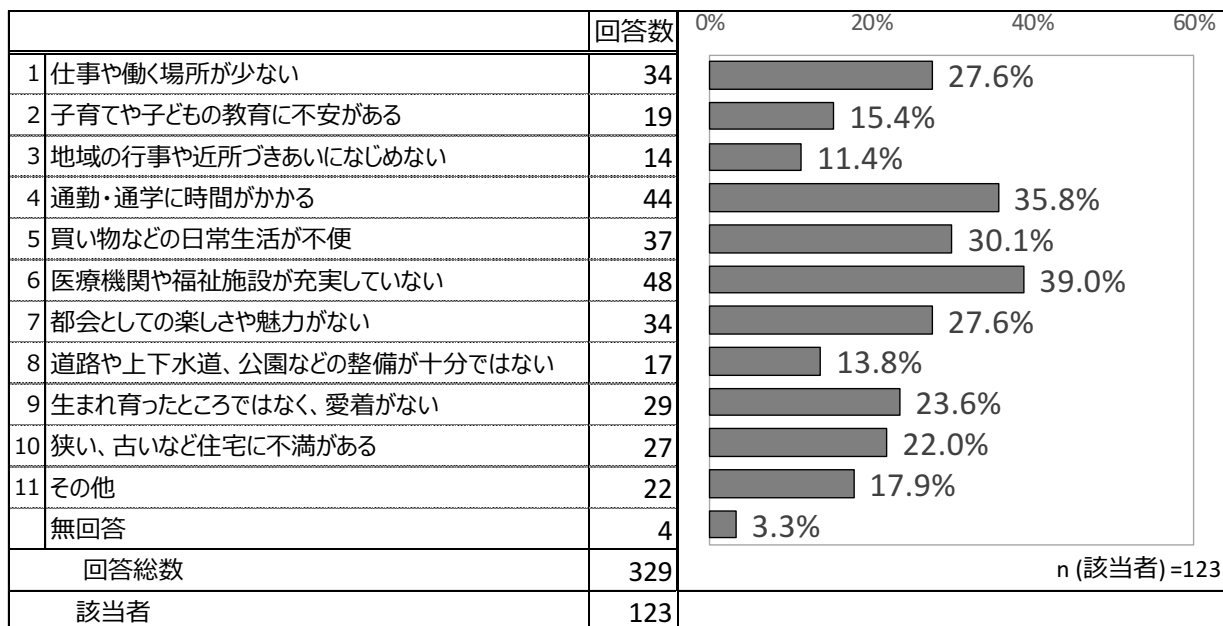
世帯構成別にみると、「今後も住み続けたい」は「その他の世帯」(77.8%)、「三世帯世帯(親と子と孫)」(70.0%)、「夫婦のみの世帯」(67.7%)の順に高くなっています。「単身世帯(ひとり暮らし)」は53.9%と最も低くなっています。

## II 調査結果

### (21) 転出・転居したい理由

問 21 問 20 で「2 現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」、「3 市外に移りたい」を選択した方にお聞きします。

転出あるいは転居したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)



※「その他」の内容：交通の利便性、公園が少ない、病院・飲食店などの利便性 等

転出や転居したい理由は、「医療機関や福祉施設が充実していない」が39.0%と最も多くなっています。次いで、「通勤・通学に時間がかかる」(35.8%)、「買い物などの日常生活が不便」(30.1%)の順となっています。

## 【年代別】

	仕事や働く場所が少ない	子育てや子どもの教育に不安がある	地域の行事や近所づきあいになじめない	通勤・通学に時間がかかる	買い物などの日常生活が不便	医療機関や福祉施設が充実していない	都会としての楽しさや魅力がない	道路や上下水道、公園などの整備が十分ではない	生まれ育ったところではなく、愛着がない	狭い、古いなど住宅に不満がある	その他	無回答
全体 【n=123】	27.6%	15.4%	11.4%	35.8%	30.1%	39.0%	27.6%	13.8%	23.6%	22.0%	17.9%	3.3%
10歳代 【n=4】	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
20歳代 【n=11】	45.5%	9.1%	0.0%	81.8%	18.2%	0.0%	36.4%	9.1%	0.0%	27.3%	27.3%	0.0%
30歳代 【n=26】	19.2%	30.8%	15.4%	23.1%	11.5%	26.9%	11.5%	15.4%	11.5%	34.6%	19.2%	0.0%
40歳代 【n=22】	36.4%	27.3%	13.6%	40.9%	27.3%	36.4%	31.8%	9.1%	27.3%	36.4%	9.1%	0.0%
50歳代 【n=24】	29.2%	0.0%	12.5%	20.8%	41.7%	45.8%	29.2%	0.0%	37.5%	16.7%	20.8%	4.2%
60歳代 【n=25】	28.0%	4.0%	12.0%	44.0%	44.0%	52.0%	32.0%	32.0%	36.0%	8.0%	24.0%	12.0%
70歳代 【n=10】	20.0%	20.0%	10.0%	20.0%	50.0%	70.0%	30.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%
80歳以上 【n=1】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

年代別にみると、50歳代以上は「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も高くなっています。20歳代、40歳代では「通勤・通学に時間がかかる」、30歳代では、「狭い、古いなど住宅に不満がある」が最も高くなっています。

【地区別】

	仕事や働く場所が少ない	子育てや子どもの教育に不安がある	地域の行事や近所づきあいになじめない	通勤・通学に時間がかかる	買い物などの日常生活が不便	医療機関や福祉施設が充実していない	都会としての楽しさや魅力がない	道路や上下水道、公園などの整備が十分ではない	生まれ育ったところではなく、愛着がない	狭い、古いなど住宅に不満がある	その他	無回答
全体【n=123】	27.6%	15.4%	11.4%	35.8%	30.1%	39.0%	27.6%	13.8%	23.6%	22.0%	17.9%	3.3%
三田地区【n=20】	15.0%	30.0%	25.0%	25.0%	25.0%	30.0%	30.0%	15.0%	20.0%	35.0%	15.0%	5.0%
三輪北部地区【n=2】	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
友が丘地区【n=1】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
三輪地区【n=9】	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%	66.7%	22.2%	0.0%
広野地区【n=4】	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%
小野地区【n=5】	20.0%	40.0%	40.0%	60.0%	80.0%	80.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
高平地区【n=3】	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
つつじが丘地区【n=13】	30.8%	23.1%	23.1%	38.5%	76.9%	61.5%	38.5%	23.1%	23.1%	15.4%	15.4%	0.0%
藍地区【n=3】	66.7%	0.0%	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	66.7%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
フラワータウン地区【n=22】	36.4%	9.1%	4.5%	36.4%	18.2%	36.4%	31.8%	0.0%	31.8%	13.6%	18.2%	9.1%
ウッディタウン地区【n=35】	34.3%	8.6%	2.9%	45.7%	14.3%	40.0%	42.9%	8.6%	22.9%	11.4%	14.3%	0.0%
カルチャータウン地区【n=6】	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	83.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%

【備考】

三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

地区別にみると、「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も多いのは、小野地区、フラワータウン地区及びカルチャータウン地区となっています。

「通勤・通学に時間がかかる」が最も多いのは、広野地区、フラワータウン地区及びウッディタウン地区となっています。

「買い物などの日常生活が不便」が最も多いのは、友が丘地区、小野地区、高平地区、つつじが丘地区となっています。

【世帯構成別】

	仕事や働く場所が少ない	子育てや子どもの教育に不安がある	地域の行事や近所づきあいになじめない	通勤・通学に時間がかかる	買い物などの日常生活が不便	医療機関や福祉施設が充実していない	都会としての楽しさや魅力がない	道路や上下水道、公園などの整備が十分ではない	生まれ育ったところではなく、愛着がない	狭い、古いなど住宅に不満がある	その他	無回答
全体【n=123】	27.6%	15.4%	11.4%	35.8%	30.1%	39.0%	27.6%	13.8%	23.6%	22.0%	17.9%	3.3%
単身世帯【n=10】	20.0%	30.0%	30.0%	30.0%	40.0%	60.0%	40.0%	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%
夫婦のみの世帯【n=31】	32.3%	12.9%	3.2%	38.7%	32.3%	54.8%	29.0%	12.9%	29.0%	22.6%	6.5%	6.5%
二世帯世帯【n=80】	27.5%	13.8%	12.5%	36.3%	27.5%	31.3%	26.3%	13.8%	21.3%	22.5%	23.8%	1.3%
三世帯世帯【n=2】	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

世帯構成別にみると、「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も多いのは、「単身世帯」及び「夫婦のみの世帯」であり、それぞれ60.0%、54.8%となっています。

「通勤・通学に時間がかかる」が最も多いのは、「二世帯世帯」であり、36.3%となっています。

【今後の三田市での居留意向別】

	仕事や働く場所が少ない	子育てや子どもの教育に不安がある	地域の行事や近所づきあいになじめない	通勤・通学に時間がかかる	買い物などの日常生活が不便	医療機関や福祉施設が充実していない	都会としての楽しさや魅力がない	道路や上下水道、公園などの整備が十分ではない	生まれ育ったところではなく、愛着がない	狭い、古いなど住宅に不満がある	その他	無回答
全体【n=123】	27.6%	15.4%	11.4%	35.8%	30.1%	39.0%	27.6%	13.8%	23.6%	22.0%	17.9%	3.3%
現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい【n=47】	17.0%	6.4%	10.6%	19.1%	29.8%	25.5%	17.0%	8.5%	6.4%	44.7%	10.6%	6.4%
市外に移りたい【n=76】	34.2%	21.1%	11.8%	46.1%	30.3%	47.4%	34.2%	17.1%	34.2%	7.9%	22.4%	1.3%

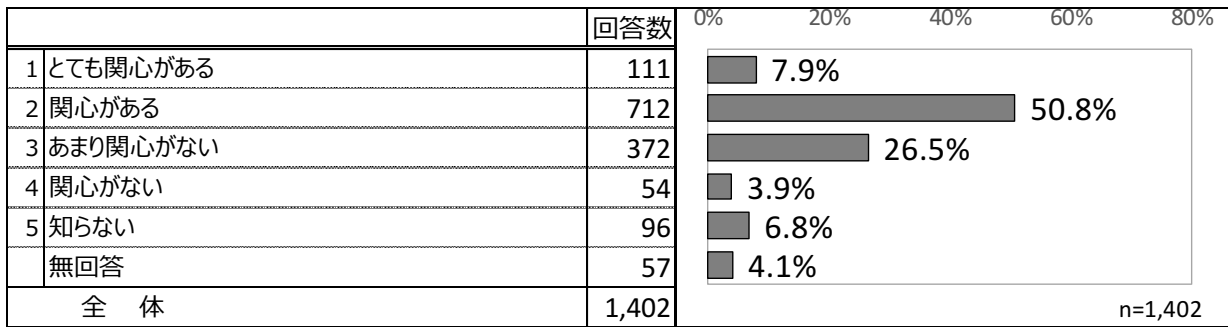
今後の三田市での居留意向別にみると、「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」は「狭い、古いなど住宅に不満がある」(44.7%)、「買い物などの日常生活が不便」(29.8%)、「医療機関や福祉施設が充実していない」(25.5%)の順となっています。

一方、「市外に移りたい」では、「医療機関や福祉施設が充実していない」(47.4%)、「通勤・通学に時間がかかる」(46.1%)、「仕事や働く場所が少ない」「都会としての楽しさや魅力がない」「生まれ育ったところではなく、愛着がない」(各34.2%)の順となっています。

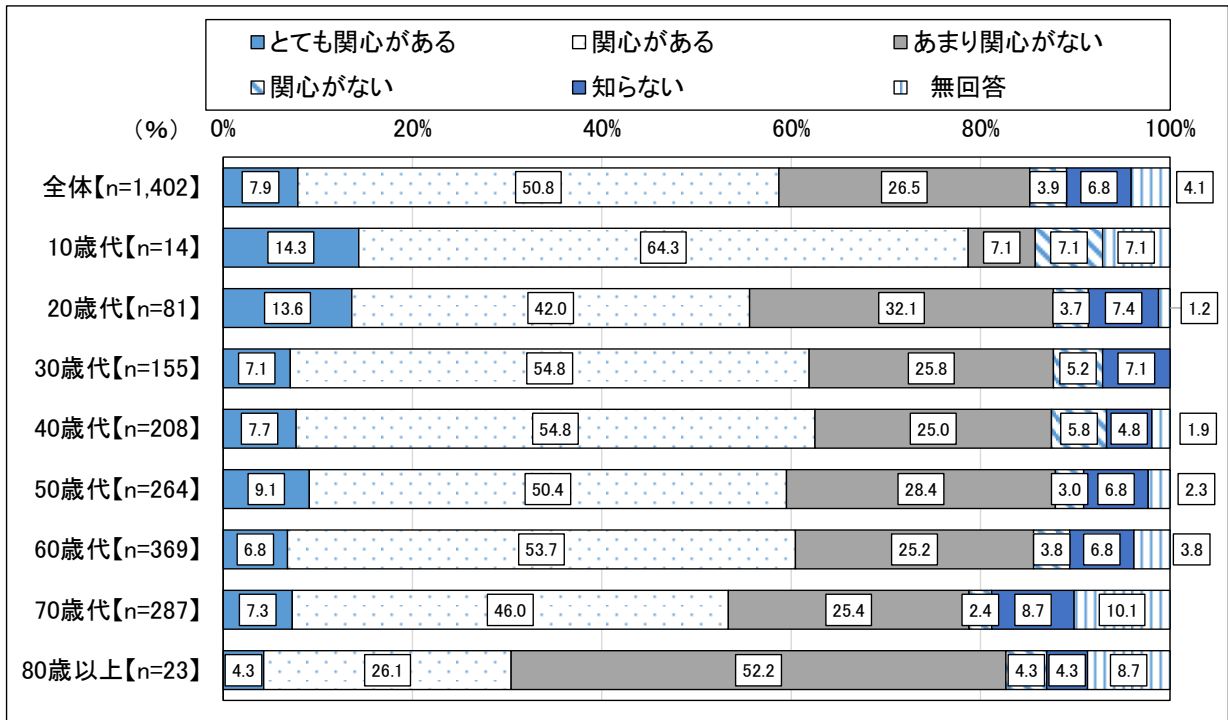
II 調査結果

(22) 「SDGs（持続可能な開発目標）」への関心度

問 22 あなたは、「SDGs※（持続可能な開発目標）」に関心がありますか。（○は1つ）



【年代別】



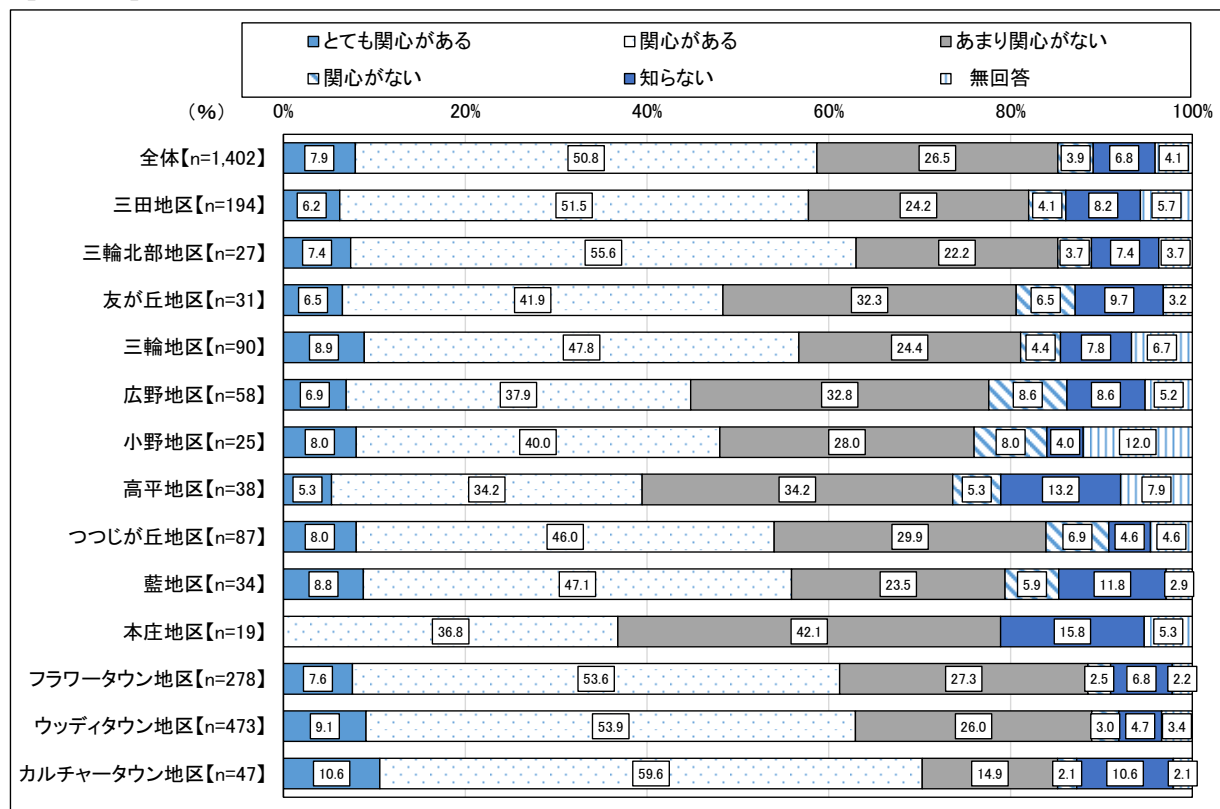
「SDGs」への関心度では、「関心がある」が最も高く、50.8%と半数を超えています。「とても関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある』割合は58.7%となっています。「あまり関心がない」と「関心がない」を合わせた『関心がない』割合は30.4%となっています。

年代別にみると、『関心がある』割合は10歳代で最も高い78.6%となっています。次いで40歳代（62.5%）、30歳代（61.9%）、60歳代（60.5%）の順となっています。

一方、『関心がない』割合は80歳代で最も高い56.5%となっており、全体平均より26.1ポイント上回っています。



【地区別】



【備考】

三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

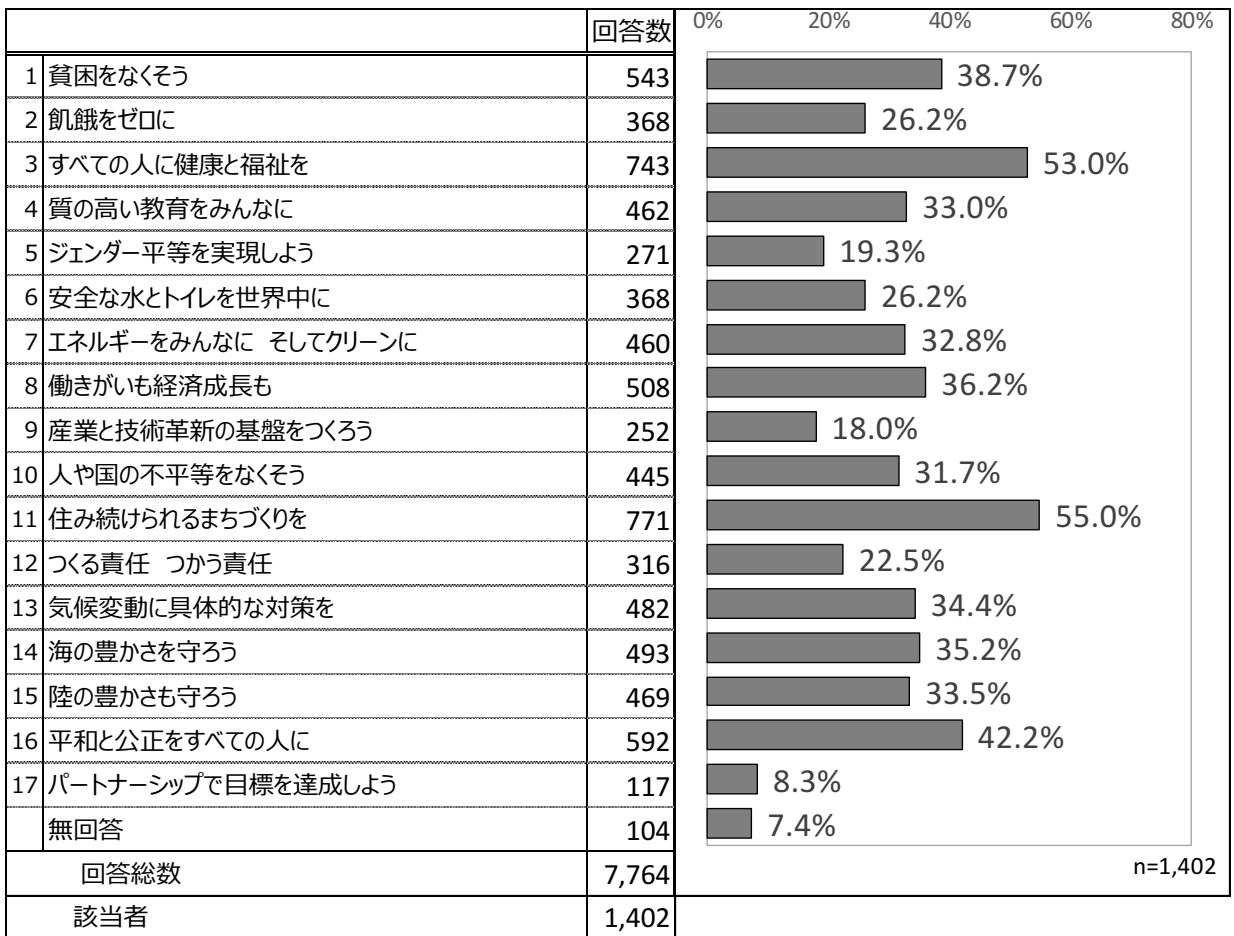
地区別にみると、『関心がある』割合はカルチャータウン地区で最も高く、70.2%となっています。次いで三輪北部地区（63.0%）、ウッディタウン地区（63.0%）、フラワータウン地区（61.2%）の順となっています。

一方、『関心がない』割合は本庄地区で最も高い42.1%となっており、次いで広野地区（41.4%）、高平地区（39.5%）、友が丘地区（38.8%）の順となっています。

II 調査結果

**(23) 「SDGs」の17のゴールの中で興味のあるジャンル**

問 23 「SDGs」の17にゴールの中で、あなたが興味のあるジャンルはどれですか。  
(〇はいくつでも)



「SDGs」の17のゴールの中で興味のあるジャンルについては、「住み続けられるまちづくりを」と「すべての人に健康と福祉を」がそれぞれ55.0%、53.0%と高く、どちらも半数を超えています。

一方、「パートナーシップで目標を達成しよう」は8.3%と最も低くなっています。次いで、「産業と技術革新の基盤をつくろう」(18.0%)、「ジェンダー平等を実現しよう」(19.3%)、「つくる責任 つかう責任」(22.5%)の順となっています。

【年代別】

	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	祉すべての人に健康と福	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう	無回答
全体 【n=1,402】	38.7%	26.2%	53.0%	33.0%	19.3%	26.2%	32.8%	36.2%	18.0%	31.7%	55.0%	22.5%	34.4%	35.2%	33.5%	42.2%	8.3%	7.4%
10歳代 【n=14】	42.9%	35.7%	28.6%	50.0%	35.7%	28.6%	21.4%	35.7%	14.3%	50.0%	35.7%	28.6%	28.6%	35.7%	28.6%	42.9%	14.3%	7.1%
20歳代 【n=81】	29.6%	21.0%	49.4%	27.2%	27.2%	25.9%	25.9%	46.9%	16.0%	34.6%	54.3%	27.2%	22.2%	24.7%	24.7%	40.7%	6.2%	3.7%
30歳代 【n=155】	39.4%	25.8%	45.8%	43.2%	25.8%	25.8%	27.1%	44.5%	17.4%	32.3%	45.8%	22.6%	21.9%	31.6%	29.7%	38.7%	11.0%	4.5%
40歳代 【n=208】	35.1%	24.0%	51.0%	38.0%	20.7%	23.1%	30.8%	43.8%	15.4%	31.7%	51.4%	21.6%	27.9%	33.7%	30.8%	40.4%	5.8%	5.3%
50歳代 【n=264】	39.0%	28.8%	52.7%	31.8%	24.2%	33.0%	34.8%	38.6%	15.2%	33.0%	53.0%	23.9%	37.9%	38.6%	37.1%	43.9%	8.0%	7.2%
60歳代 【n=369】	38.2%	24.9%	54.5%	31.2%	15.2%	23.8%	35.2%	33.3%	21.7%	29.5%	59.1%	23.8%	40.4%	38.5%	36.9%	42.8%	8.7%	9.2%
70歳代 【n=287】	42.5%	28.2%	57.5%	27.9%	12.9%	25.1%	34.8%	26.1%	18.8%	32.4%	58.9%	19.9%	39.4%	33.1%	32.1%	42.9%	9.1%	10.1%
80歳以上 【n=23】	52.2%	26.1%	69.6%	30.4%	13.0%	30.4%	34.8%	21.7%	17.4%	17.4%	69.6%	8.7%	21.7%	39.1%	34.8%	47.8%	8.7%	0.0%

年代別にみると、20～80歳代は「住み続けられるまちづくりを」が最も高く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が高くなっています。

一方、10歳代は「質の高い教育をみんなに」「人や国の不平等をなくそう」（各50.0%）が最も高く、次いで「貧困をなくそう」「平和と公正をすべての人に」（各42.9%）となっています。

【地区別】

	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう	無回答
全体【n=1,402】	38.7%	26.2%	53.0%	33.0%	19.3%	26.2%	32.8%	36.2%	18.0%	31.7%	55.0%	22.5%	34.4%	35.2%	33.5%	42.2%	8.3%	7.4%
三田地区【n=194】	33.5%	21.1%	48.5%	30.9%	18.0%	23.2%	28.4%	39.2%	15.5%	31.4%	50.0%	25.3%	29.4%	31.4%	30.9%	38.1%	6.7%	8.8%
三輪北部地区【n=27】	44.4%	25.9%	70.4%	22.2%	18.5%	22.2%	37.0%	29.6%	7.4%	33.3%	59.3%	25.9%	48.1%	33.3%	29.6%	51.9%	7.4%	7.4%
友が丘地区【n=31】	35.5%	25.8%	45.2%	19.4%	16.1%	29.0%	29.0%	16.1%	6.5%	25.8%	38.7%	16.1%	32.3%	22.6%	25.8%	38.7%	3.2%	19.4%
三輪地区【n=90】	37.8%	27.8%	50.0%	26.7%	20.0%	26.7%	30.0%	28.9%	16.7%	27.8%	52.2%	18.9%	30.0%	25.6%	25.6%	42.2%	7.8%	7.8%
広野地区【n=58】	46.6%	27.6%	55.2%	34.5%	27.6%	27.6%	31.0%	32.8%	24.1%	34.5%	51.7%	22.4%	37.9%	39.7%	37.9%	44.8%	17.2%	17.2%
小野地区【n=25】	52.0%	28.0%	52.0%	40.0%	20.0%	20.0%	28.0%	32.0%	24.0%	36.0%	44.0%	24.0%	24.0%	44.0%	40.0%	36.0%	4.0%	8.0%
高平地区【n=38】	39.5%	13.2%	39.5%	15.8%	13.2%	23.7%	31.6%	13.2%	10.5%	23.7%	44.7%	13.2%	31.6%	21.1%	23.7%	31.6%	10.5%	15.8%
つつじが丘地区【n=87】	36.8%	25.3%	58.6%	28.7%	14.9%	25.3%	41.4%	42.5%	23.0%	25.3%	63.2%	18.4%	35.6%	39.1%	36.8%	46.0%	6.9%	6.9%
藍地区【n=34】	47.1%	32.4%	55.9%	29.4%	11.8%	26.5%	14.7%	14.7%	11.8%	44.1%	41.2%	20.6%	23.5%	44.1%	41.2%	41.2%	5.9%	14.7%
本庄地区【n=19】	57.9%	31.6%	47.4%	26.3%	10.5%	10.5%	10.5%	15.8%	15.8%	36.8%	36.8%	21.1%	26.3%	21.1%	15.8%	47.4%	5.3%	10.5%
フラワータウン地区【n=278】	42.4%	26.3%	47.5%	29.5%	20.1%	28.1%	31.7%	37.4%	18.7%	32.7%	57.2%	27.3%	31.7%	37.4%	33.8%	43.9%	7.6%	6.1%
ウッドタウン地区【n=473】	34.9%	27.7%	56.7%	40.0%	19.7%	27.1%	35.7%	41.0%	19.5%	32.6%	59.6%	20.9%	39.3%	37.4%	35.9%	41.6%	9.5%	4.2%
カルチャータウン地区【n=47】	48.9%	31.9%	66.0%	38.3%	29.8%	29.8%	44.7%	38.3%	17.0%	29.8%	51.1%	23.4%	36.2%	34.0%	31.9%	53.2%	8.5%	8.5%

【備考】

三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

地区別にみると、藍地区、本庄地区、カルチャータウン地区以外の全地区で「住み続けられるまちづくりを」「すべての人に健康と福祉を」が高くなっており、大きな差はみられません。

一方、藍地区は「すべての人に健康と福祉を」(55.9%)、「貧困をなくそう」(47.1%)の順に、本庄地区は「貧困をなくそう」(57.9%)、「すべての人に健康と福祉を」(47.4%)の順に、カルチャータウン地区は「すべての人に健康と福祉を」(66.0%)、「平和と公正をすべての人に」(53.2%)の順に高くなっています。

**(24) まちづくりの各分野の満足度と重要度**

問 24 第5次総合計画で定める次の施策体系のうち、三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する「満足度」と、これからのまちづくりを進めていくうえでの「重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

(満足度)

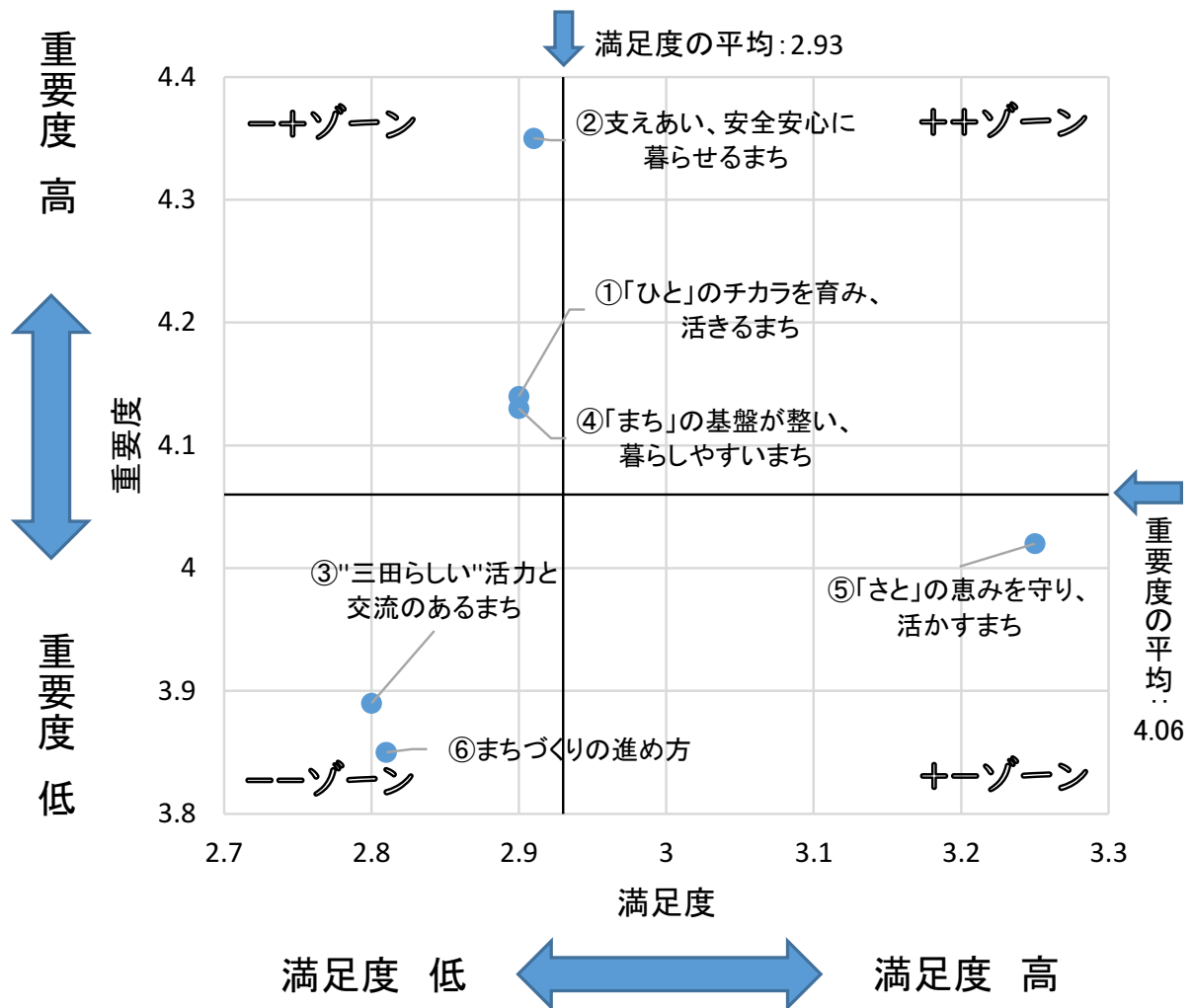
	0pt	1pt	2pt	3pt	4pt	5pt
1 「ひと」のチカラを育み、活きるまち						2.77
2 支えあい、安全安心に暮らせるまち						2.86
3 "三田らしい"活力と交流のあるまち						2.75
4 「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち						2.87
5 「さと」の恵みを守り、活かすまち						3.19
6 まちづくりの進め方						2.75

三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する満足度については、『「さと」の恵みを守り、活かすまち』が3.19ポイントと、最も高くなっています。次いで、『「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち』(2.87ポイント)、「支えあい、安全安心に暮らせるまち」(2.86ポイント)の順となっています。

(重要度)

	0pt	1pt	2pt	3pt	4pt	5pt
1 「ひと」のチカラを育み、活きるまち						3.91
2 支えあい、安全安心に暮らせるまち						4.23
3 "三田らしい"活力と交流のあるまち						3.78
4 「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち						4.01
5 「さと」の恵みを守り、活かすまち						3.90
6 まちづくりの進め方						3.73

重要度については、「支えあい、安全安心に暮らせるまち」が4.23ポイントと、最も高くなっています。次いで、『「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち』(4.01ポイント)、『「ひと」のチカラを育み、活きるまち』(3.91ポイント)の順となっています。



満足度を横軸、重要度を縦軸に取って散布図を作成すると、各平均との比較で「++ゾーン」「+-ゾーン」「--ゾーン」「一+ゾーン」の4象限を作成することができます。このうち、満足度が低いが、重要度は高い「一+ゾーン」には、『「ひと」のチカラを育み、生きるまち』『支えあい、安全安心に暮らせるまち』『「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち』が含まれています。

## 【年代別】

(満足度)

	1 「ひと」のチカラを育み、 活きるまち	2 支えあい、安全安心に 暮らせるまち	3 “三田らしい”活力と 交流のあるまち	4 「まち」の基盤が整い、 暮らしやすいまち	5 「さと」の恵みを守り、 活かすまち	6 まちづくりの進め方	平均
全体	2.90	2.91	2.80	2.90	3.25	2.81	2.93
10歳代	3.36	3.71	2.86	3.43	3.64	3.07	3.35
20歳代	3.09	3.13	2.88	3.15	3.55	3.04	3.14
30歳代	2.90	2.97	2.90	2.99	3.36	2.91	3.01
40歳代	2.88	2.88	2.85	2.99	3.43	2.81	2.97
50歳代	2.92	2.97	2.84	2.93	3.28	2.79	2.96
60歳代	2.82	2.81	2.71	2.86	3.11	2.75	2.84
70歳代	2.91	2.90	2.76	2.82	3.11	2.78	2.88
80歳以上	2.95	2.82	2.82	2.86	3.23	2.91	2.93

満足度について年代別にみると、10歳代の平均満足度が最も高く、全体平均より0.42ポイント上回っています。次いで、20歳代（3.14ポイント）、30歳代（3.01ポイント）、40歳代（2.97ポイント）と、年代が上がるほど満足度が下がる傾向になっています。

20～80歳以上は『「さと」の恵みを守り、活かすまち』の満足度が最も高く、全ての年代で3.00ポイントを超えています。20～40歳代では、次いで『「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち』『「支えあい、安全安心に暮らせるまち」の順に高くなっています。

(重要度)

	1 「ひと」のチカラを育み、 活きるまち	2 支えあい、安全安心に 暮らせるまち	3 “三田らしい”活力と 交流のあるまち	4 「まち」の基盤が整い、 暮らしやすいまち	5 「さと」の恵みを守り、 活かすまち	6 まちづくりの進め方	平均
全体	4.14	4.35	3.89	4.13	4.02	3.85	4.06
10歳代	4.21	4.21	4.21	4.14	4.21	3.93	4.15
20歳代	4.21	4.32	3.85	4.25	3.99	3.78	4.07
30歳代	4.21	4.30	3.84	3.97	3.97	3.81	4.02
40歳代	4.28	4.45	3.91	4.20	4.02	3.78	4.11
50歳代	4.04	4.35	3.93	4.18	3.98	3.87	4.06
60歳代	4.09	4.36	3.88	4.14	4.02	3.87	4.06
70歳代	4.10	4.30	3.88	4.07	4.07	3.89	4.05
80歳以上	4.22	4.10	3.80	4.10	4.20	4.10	4.09

重要度について年代別にみると、10歳代の平均重要度が4.15ポイントと、最も高くなっています。次いで40歳代（4.11ポイント）、80歳以上（4.09ポイント）の順に高くなっていますが大きな差は見られません。

10～70歳代は「支えあい、安全安心に暮らせるまち」の重要度が最も高く、80歳以上を除いた全ての年代で4.20ポイントを超えています。80歳以上は『「ひと」のチカラを育み、活きるまち』が4.22ポイントと最も高くなっており、次いで『「さと」の恵みを守り、活かすまち』（4.20ポイント）の順に高くなっています。

## II 調査結果

### 【地区別】

(満足度)

	1 「ひと」のチカラを育み、 活きるまち	2 支えあい、安全安心に 暮らせるまち	3 “三田らしい”活力と 交流のあるまち	4 「まち」の基盤が整い、 暮らしやすいまち	5 「さと」の恵みを守り、 活かすまち	6 まちづくりの進め方	平均
全体	2.90	2.91	2.80	2.90	3.25	2.81	2.93
三田地区	2.90	2.93	2.82	2.96	3.25	2.82	2.95
三輪北部 地区	3.04	3.12	3.04	2.78	3.07	3.07	3.02
友が丘地区	3.03	2.93	2.73	2.77	3.27	2.90	2.94
三輪地区	2.96	2.97	2.86	2.93	3.22	2.89	2.97
広野地区	2.91	2.90	2.56	2.83	3.10	2.69	2.83
小野地区	2.84	2.68	2.84	2.56	3.20	2.88	2.83
高平地区	2.71	2.64	2.61	2.42	3.03	2.69	2.68
つつじが丘 地区	2.63	2.72	2.72	2.52	3.21	2.63	2.74
藍地区	2.63	2.69	2.75	2.44	2.94	2.71	2.69
本庄地区	2.76	2.78	2.78	2.83	3.17	2.89	2.87
フラワータウン 地区	2.82	2.90	2.73	2.92	3.21	2.77	2.89
ウッディタウン 地区	3.01	2.99	2.86	3.12	3.38	2.87	3.04
カルチャータウン 地区	2.82	2.85	2.94	2.72	3.09	2.81	2.87

### 【備考】

三輪北部地区：志手原小学校区

三輪地区：三輪北部地区・友が丘地区を除く。

藍地区：つつじが丘地区を除く。

満足度について地区別にみると、ウッディタウン地区の平均満足度が3.04ポイントと、最も高くなっています。次いで、三輪北部地区(3.02ポイント)、三輪地区(2.97ポイント)の順に高くなっています。

一方、高平地区(2.68ポイント)、藍地区(2.69ポイント)は、全体平均に対して約0.25ポイント低くなっています。

三輪北部地区を除いた全ての地区で、『「さと」の恵みを守り、活かすまち』の満足度が最も高くなっています。三輪北部地区は「支えあい、安全安心に暮らせるまち」が3.12ポイントと最も高くなっています。



(重要度)

	1	2	3	4	5	6	平均
	「ひと」のチカラを育み、 活きるまち	支えあい、安全安心に 暮らせるまち	“三田らしい”活力と 交流のあるまち	「まち」の基盤が整い、 暮らしやすいまち	「さと」の恵みを守り、 活かすまち	まちづくりの進め方	
全体	4.14	4.35	3.89	4.13	4.02	3.85	4.06
三田地区	4.20	4.19	3.90	4.06	4.02	3.86	4.04
三輪北部 地区	4.16	4.24	3.77	3.92	3.92	3.92	3.99
友が丘地区	3.72	4.33	3.79	3.93	4.00	3.67	3.91
三輪地区	4.01	4.37	3.92	3.84	3.96	3.72	3.97
広野地区	3.98	4.28	4.00	4.17	4.03	3.83	4.05
小野地区	3.80	4.12	3.84	4.08	3.92	3.83	3.93
高平地区	4.00	4.34	3.89	4.06	4.06	3.76	4.02
つつじが丘 地区	4.07	4.40	3.86	4.26	4.00	3.92	4.09
藍地区	3.97	4.35	3.66	3.84	3.84	3.69	3.89
本庄地区	3.89	4.39	3.50	3.89	4.00	3.61	3.88
フラワータウン 地区	4.13	4.33	3.91	4.15	3.97	3.76	4.04
ウッディタウン 地区	4.23	4.41	3.91	4.22	4.08	3.94	4.13
カルチャータウン 地区	4.31	4.53	3.89	4.23	4.06	4.04	4.18

重要度について地区別にみると、カルチャータウン地区の平均重要度が 4.18 ポイントと、最も高くなっています。次いで、ウッディタウン地区 (4.13 ポイント)、つつじが丘地区 (4.09 ポイント) の順に高くなっています。

一方、本庄地区 (3.88 ポイント)、藍地区 (3.89 ポイント) は、全体平均に対して約 0.2 ポイント低くなっています。

三田地区を除いた全ての地区で、「支えあい、安全安心に暮らせるまち」の重要度が最も高くなっています。三田地区は『「ひと」のチカラを育み、活きるまち』が 4.20 ポイントと最も高くなっていますが、「支えあい、安全安心に暮らせるまち」の重要度と大きな差は見られません。



# 調 査 票

## 三田市 市民意識調査

### ▷▷▷ 調査ご協力のお願い ◁◁◁

日頃は、市政の各般にわたりご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この調査は、三田市総合計画（※）に基づくまちづくりに関し、市民の皆さまからのご意見をお聴きし、今後の市政運営に役立てることを目的に実施しています。

※ 三田市総合計画

三田市まちづくり基本条例に基づき策定するまちづくりの指針となるもので、まちづくりの方向やそれを実現するための取り組み等を定めるものです。

令和4年度から第5次三田市総合計画がスタートし、

“「ひと」×「まち」×「さと」が織りなす未来都市 三田”

をまちづくりの基本目標に定めています。

三田市内にお住まいの18歳以上の方の中から3,000人の方について、地域ごとの人口分布などを考慮して無作為に選ばせていただき、調査票をお送りしています。

回答の内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーを保護することはもとより、他の目的に利用することは一切ございませんので、安心してご記入いただきますようお願いいたします。

また、郵送による回答のほか、インターネットによる回答を実施します。操作方法その他回答にあたっては、次のページをご確認ください。

なお、調査結果の概要は、後日、市ホームページなどを通じて報告いたします。

大変お忙しいところ恐れ入りますが、調査の目的をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年6月

三田市長 森 哲 男

## － 回答にあたってのお願い －

この調査は、郵送による回答とインターネットでの回答のどちらかをお選びいただけます。

① パソコンやスマートフォンから、下記URL（またはQRコード）にアクセス後、IDとパスワードでログインし、項目ごとに回答してください。

なお、回答の入力は、**6月28日(火) 24時まで**にお願いします。

② IDとパスワードは無作為に付与しており、回答された方が特定されることはありません。

【URL】 <https://logoform.jp/f/68zSC>

調査票ID：

(すべて半角数字です。)

回答フォーム二次元コード



### 【郵送の場合】

① 回答は、必ず宛名のご本人が無記名でご記入ください。

※ ただし、ご本人が設問の内容や表現などがわかりにくい場合などは、ご家族の方と相談のうえでわかる範囲でお答えください。

② 質問ごとに、あてはまる番号を○で囲んでください。質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きの指示にしたがって回答してください。

③ 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、( )内になるべく具体的にご記入ください。

④ 回答は、えんぴつ、ボールペンなどではっきりとご記入ください。

⑤ 調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて**6月28日(火)**までにポストに投函してください。

◎ご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

三田市 総合政策部 政策調整室 政策課

電話 (079) 559-5038 (直通)

ファクス (079) 563-1366

「市政市民参加名簿への登録」(別紙)のご案内を同封していますので、あわせてご覧ください。

あなたご自身のことについてお尋ねします

問1 あなたがお住まいの地区を選んでください。(○は1つ)

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1 三田地区                   | 8 つつじが丘地区          |
| 2 三輪北部地区(志手原小学校区)        | 9 藍地区(つつじが丘地区を除く。) |
| 3 友が丘地区                  | 10 本庄地区            |
| 4 三輪地区(三輪北部地区・友が丘地区を除く。) | 11 フラワータウン地区       |
| 5 広野地区                   | 12 ウッディタウン地区       |
| 6 小野地区                   | 13 カルチャータウン地区      |
| 7 高平地区                   |                    |

問2 令和4年6月1日現在のあなたの年齢を選んでください。(○は1つ)

- |        |         |
|--------|---------|
| 1 10歳代 | 5 50歳代  |
| 2 20歳代 | 6 60歳代  |
| 3 30歳代 | 7 70歳代  |
| 4 40歳代 | 8 80歳以上 |

問3 あなたの世帯構成を選んでください。(○は1つ)

- 1 単身世帯(ひとり暮らし)
- 2 夫婦のみの世帯
- 3 二世帯世帯(親と子)
- 4 三世帯世帯(親と子と孫)
- 5 その他の世帯( )

問4 あなたのご家族に次の方はおられますか。該当するものを選んでください。(○はいくつでも)

- 1 小学校入学前の乳幼児
- 2 小学生～18歳未満の子ども
- 3 65歳以上の方
- 4 「1」～「3」に当てはまる家族はいない

問5 あなたの職業を選んでください。(○は1つ)

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1 自営業 (農業を含む) | 5 家事専業    |
| 2 勤め人         | 6 無職      |
| 3 パート・アルバイト   | 7 その他 ( ) |
| 4 学生          |           |

【問5で「1 自営業 (農業を含む)」、「2 勤め人」、「3 パート・アルバイト」、「4 学生」を選択した方にお聞きします。】

問6 通勤・通学先や事業を営んでいる場所を選んでください。(○は1つ)

- 1 三田市内
- 2 三田市以外の兵庫県内
- 3 兵庫県外

### まちづくりなど市政全般についてお尋ねします

問7 あなたは、人権問題の解決に向けて、社会全体で取り組むとともに、自分も努力すべきだと思いますか。(○は1つ)

- |        |          |
|--------|----------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない |
|--------|----------|

問8 あなたは、地域活動 (自治会の活動やボランティアの活動など) に参加していますか。(○は1つ)

- |                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 1 現在参加している           | 3 現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない |
| 2 現在参加していないが、今後参加したい |                           |

問9 あなたは、隣近所の人と「困った時に助け合うことができる」と思いますか。(○は1つ)

- |      |        |
|------|--------|
| 1 思う | 2 思わない |
|------|--------|

問10 あなたは、日常生活で健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 大いに取り組んでいる | 3 あまり取り組んでいない |
| 2 少しは取り組んでいる | 4 何も取り組んでいない  |

問 11 あなたは、週一回以上運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)

- 1 している
- 2 していない

問 12 あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(○は1つ)

- 1 いる
- 2 いない

問 13 あなたは、三田市のまちづくりにどの程度関心がありますか。(○は1つ)

- 1 非常に関心がある
- 2 ある程度関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない

【問 13 で「4 まったく関心がない」を選択した方にお聞きします。】

問 14 三田市のまちづくりにまったく関心がない理由をご記入ください。(30文字まで)


問 15 あなたは、広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等を読んでいますか。(○は1つ)

- 1 読んでいる
- 2 読んでいない

問 16 あなたは、三田市役所を信頼できますか。(○は1つ)

- 1 信頼できる
- 2 まあ信頼できる
- 3 あまり信頼できない
- 4 信頼できない

【問 16 で「4 信頼できない」を選択した方にお聞きします。】

問 17 三田市役所を信頼できない理由をご記入ください。(30文字まで)




問 18 あなたは、よりよい三田のまちのため意識して行っていることはありますか。

(○は1つ)

1 行っている

2 行っていない

【問 18 で「1 行っている」を選択した方にお聞きします。】

問 19 あなたが行っていることをご記入ください。(30 文字まで)

例1) 子どもたちの登下校の見守りをしている。

例2) 地域の行事・イベントに参加している。など


問 20 あなたは、これからも三田市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1 今後も住み続けたい

4 今のところ、わからない

2 現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい

3 市外に移りたい

【問 20 で「2 現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」、「3 市外に移りたい」を選択した方にお聞きします。】














問 21 転出あるいは転居したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 仕事や働く場所が少ない
- 2 子育てや子どもの教育に不安がある
- 3 地域の行事や近所づきあいになじめない
- 4 通勤・通学に時間がかかる
- 5 買い物などの日常生活が不便
- 6 医療機関や福祉施設が充実していない
- 7 都会としての楽しさや魅力がない
- 8 道路や上下水道、公園などの整備が十分でない
- 9 生まれ育ったところではなく、愛着がない
- 10 狭い、古いなど住宅に不満がある
- 11 その他 ( )

問 22 あなたは、「SDGs※ (持続可能な開発目標)」に関心がありますか。(○は1つ)

- 1 とても関心がある                      2 関心がある                      3 あまり関心がない  
4 関心がない                      5 知らない

問 23 「SDGs」の17のゴールの中で、あなたが興味のあるジャンルはどれですか。(○はいくつでも)

1 1 貧困をなくそう 	2 2 飢餓をゼロに 	3 3 すべての人に健康と福祉を 	4 4 質の高い教育をみんなに 	5 5 ジェンダー平等を実現しよう 
6 6 安全な水とトイレを世界中に 	7 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 8 働きがいも経済成長も 	9 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 10 人や国の不平等をなくそう 
11 11 住み続けられるまちづくりを 	12 12 つくる責任 つかう責任 	13 13 気候変動に具体的な対策を 	14 14 海の豊かさを守ろう 	15 15 陸の豊かさも守ろう 
16 16 平和と公正をすべての人に 	17 17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

※SDGs : Sustainable Development Goals の略であり、平成 27 年 (2015 年) 9 月の国連サミットにおいて採択された国際社会の共通目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、令和 12 年 (2030 年) を年限とする 17 のゴールと 169 のターゲットから構成されます。

問 24 第 5 次総合計画で定める次の施策体系のうち、三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する「満足度」と、これからのまちづくりを進めていくうえでの「重要度」について、それぞれ 5 段階であなたの考えに最も近い番号を 1 つずつ選んで○をつけてください。

(記入例) 1 「ひと」のチカラを育み、活きるまち		現在の満足度					今後の重要度				
		満足←			→不満		重要←			→重要でない	
		5	4	③	2	1	5	④	3	2	1
1	「ひと」のチカラを育み、活きるまち ～輝く人づくり～ 例：人権・共生のまちづくり 地域で支えるまちづくり 健康づくり 乳幼児期の育ち 地域ぐるみの子育て 学校教育の充実 若 者が集うまち いつまでも学び、活躍できるまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	支えあい、安全安心に暮らせるまち ～やすらぎづくり～ 例：地域医療の安心 生活の安全安心・非常時への備え 子ども・ 子育ての安心 高齢者の安心 障害のある人の安心 心つなが る暮らしの安心	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	“三田らしい”活力と交流のあるまち ～にぎわいづくり～ 例：商工業の振興 農業の振興 観光・交流・文化の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち ～快適づくり～ 例：まちの再生 良好な住まい 交通ネットワーク	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	「さと」の恵みを守り、活かすまち ～うるおいづくり～ 例：水の保全 里山・自然の保全 持続可能な環境づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	まちづくりの進め方 例：協働・共創のまちづくり 行政経営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

この調査票を、同封の返信用封筒に入れて、6月28日（火）までにポストへ投函してください。



